

79-315

魚類查定法

信經田藤 主學理
介之圭瀧大 國米理
著合

肆書京東
行發房華裳

行印月三年七十三治明

明治
37 3 24
內交

緒言

著者等曩ニ日本魚類圖説ヲ刊行シテ聊カ本邦ニ於ケル水産上
重要ナル魚類ノ種類、習性及ビ漁法ノ一斑ヲ闡明ニシ汎ク之ヲ
學者、教育家、實業家等ニ提擧シタリ而シテ其記述ハ水産ノ思想
ヲ普及センガ爲メ可成卑近ヲ主トセリ然レドモ魚類ヲ記述ス
ルガ如キハ素ト是レ純然タル専門ノ學術ニ屬スルヲ以テ其ノ
記述中往々學語ヲ引用スルノ已ムヲ得ザルニ至レリ翻ツテ現
今水産ノ趨勢ヲ案ズルニ今ヤ漸ク舊套ヲ脱シテ其ノ振興ヲ學
術ニ期待セントス此時ニ際シテ茲ニ水産ノ淵源タル魚類ヲ研
究スル方法及ビ之ヲ爲スニ緊要ナル學語ヲ講説スルハ獨リ魚

類圖說ヲ了解スルノ指南タルノミナラズ亦以テ水産振張ノ楷
梯タラシムト疑ヲ容レザル所ナリ

明治三十七年二月

著者合識

凡例

- 一 本書中ノ圖ハ藤田經信著日本水産動物學ヨリ摘
録セルモノ少ナカラズ
- 一 魚學ノ學語ハ主トシテ "American Food and Game
Fishes" by D. S. Jordan & B. W. Edemann ヨリ譯載
セリ
- 一 日本魚類ヲ記載セル主要書目ハ多クハ英文ヲ以
テ記述シ且ツ多數ノ種類ヲ網羅セルモノヲ撰擇
シテ之レヲ掲載セリ

日本魚類查定法

米國理學士 大瀧圭之介
理學士農學士 藤田經信 合著

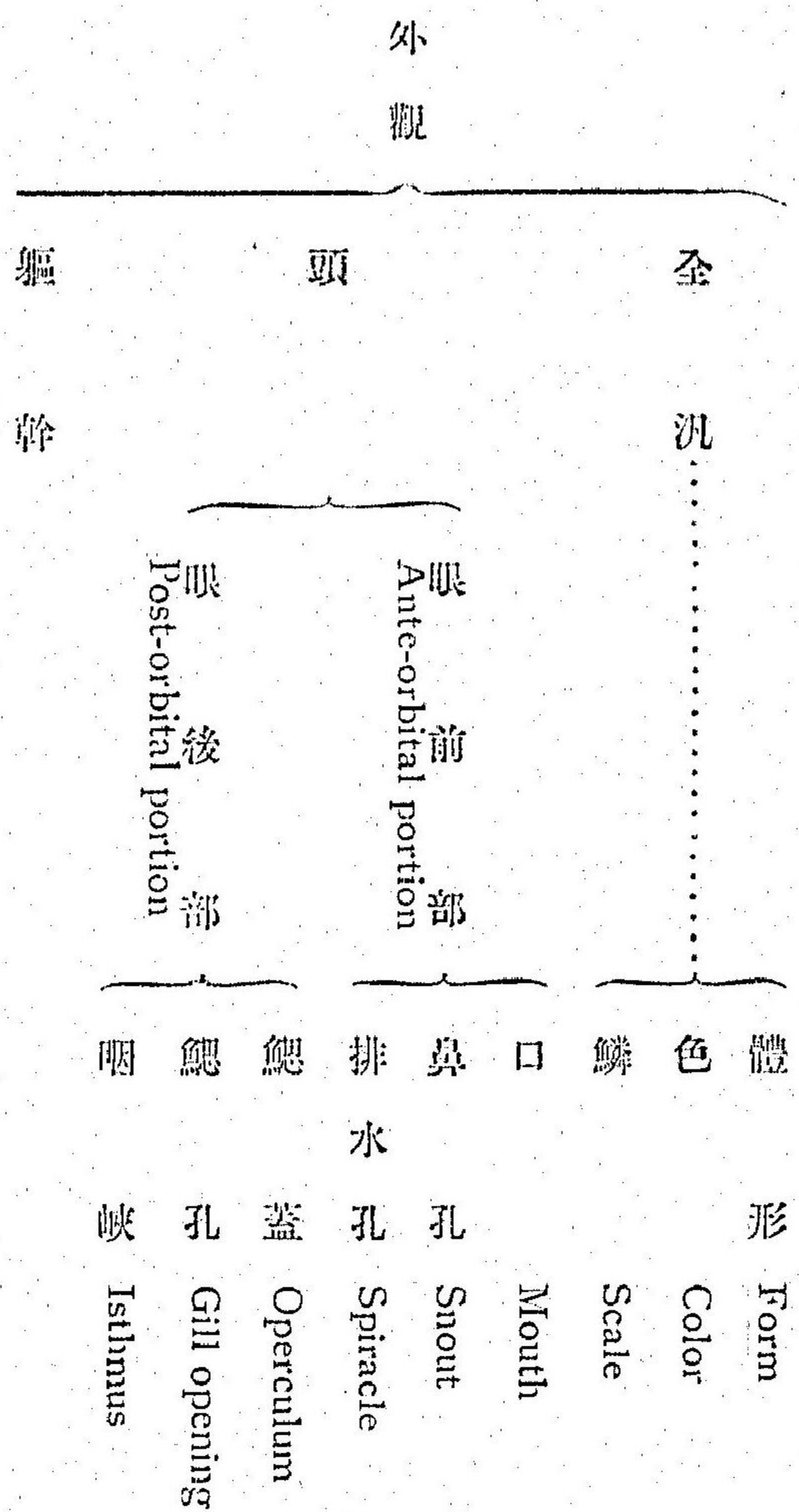
本邦ハ其沿岸長クシテ水産物ニ富ミ古來之ヲ以テ肉食唯一ノ材料トナシタルガ故ニ其普通ノ種類ニシテ食饌ニ上ボスモノ、名稱及ビ形狀ハ樵翁牧童ト雖モ暗記セザルハナシ然レドモ側扁圓形ナル魚類ハ皆之ヲ總稱シテたい類トセル時代ニ比スレバ今日魚類ニ關スル吾人ノ學識ハ著シキ進境ニアリテ最早斯般ノ雜然タル分類ヲ認メセザルノミナラス尙ホ巨細ニ魚體ノ構造ヲ剖析シ之ニ依リテ種類ヲ確定スルニ至レリ故ニ多少ノ學殖アルモノト雖モ魚類ヲ判別スルノ標準ヲ知ルモノ尠ク假令名稱ノミハ聞知スルモ實物ニ際シテハ其何種ニ適從スルヤヲ知ラザルモノ尠カラザルヘシ而シテ之ヲ判斷スルノ鎖鑰ハ獨リ魚學ニアリトス之ヲ實業ノ方面ヨリ視ルニ水産ハ水棲生物ヲ漁撈シ又之ヲ養殖スルノ謂ナリ而シテ魚類ハ水産上最モ樞要ナル位置ヲ占ム魚類ハ其外圍ノ境遇ニ適應シ又適應

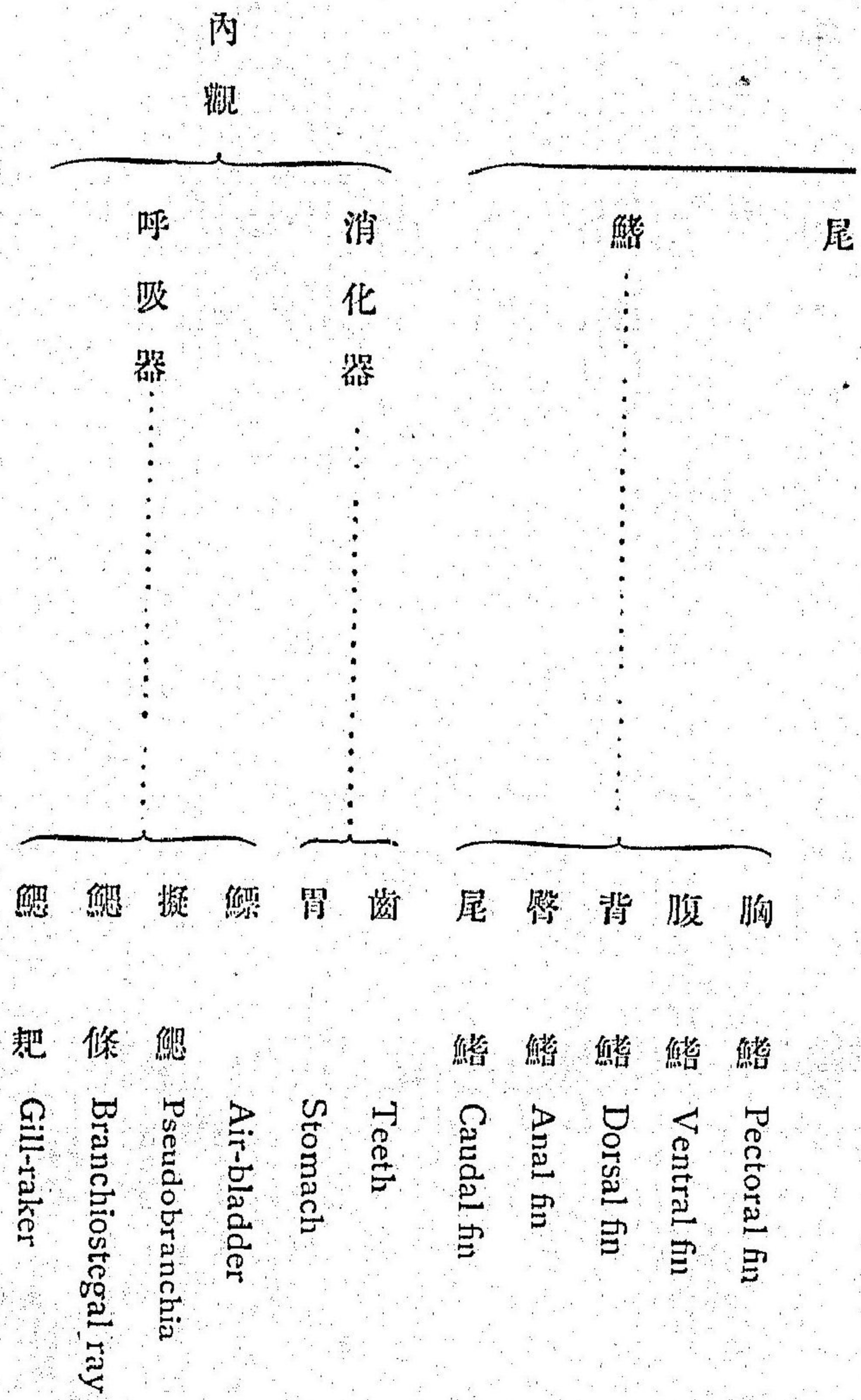
セル外圍ヲ追求スルガ故ニ體ノ構造ハ乃チ一面ニ於テハ明ニ其習性ヲ反映ス故ニ魚類ヲ講究スルハ是レ水産ヲ研鑽スルノ謂ヒニシテ苟クモ之ヲ度外視シテ其進捗ヲ望ムハ譬ヘバ沙上ニ樓閣ヲ築クニ比シク潰壞ヲ免カレントスルモ能ハザルナリ魚學ヲ研究シ詳細ニ之ガ専門ノ知識ヲ收メントスルニハ先ヅ斯學特有ノ術語ヲ知ラザル可カラズ之ヲ知レバ直ニ魚體ノ構造ヲ了解スルコトヲ得ベク之ヲ分類スルコトヲ得ベク又之ガ習性ヲモ覺知スルコトヲ得ベシ

魚類ヲ査定セントスルニ當リ第一ニ吾人ノ念頭ニ浮ブモノハ魚體ノ如何ナル部位ヲ標準トシテ彼此ヲ判別スベキヤノ問題ナリ凡テ動物ノ種類ヲ考查センニハ其體ノ部位又ハ器官ノ中固有性ノモノニシテ而モ可成的確立不變ノモノヲ撰擇シ之ヲ其種ノ特徴トスルヲ要ス而シテ斯ノ如キモノハ骨格ヲ推シテ第一トス故ニ近來魚類ノ査定モ亦骨格ヲ基礎トシテ種別シ殊ニ頭骨ニ依ルモノ多シ然レドモ頭骨ノ構造タルヤ甚ダ複雑ニシテ之ヲ實物ニ照ラスニ専門ノ士ニ非ラザルヨリハ容易ニ知得シ易カラズ而モ魚類ノ分類ハ之ヲ卑近ニ釋ケバ骨格以外ニ於テ檢索スルノ方法ナキニ非ラザルナリ

此目的ニヨリ査定ノ標準ヲ大別シテ魚類ノ外觀及ビ内觀トス而シテ特異ノ徵候

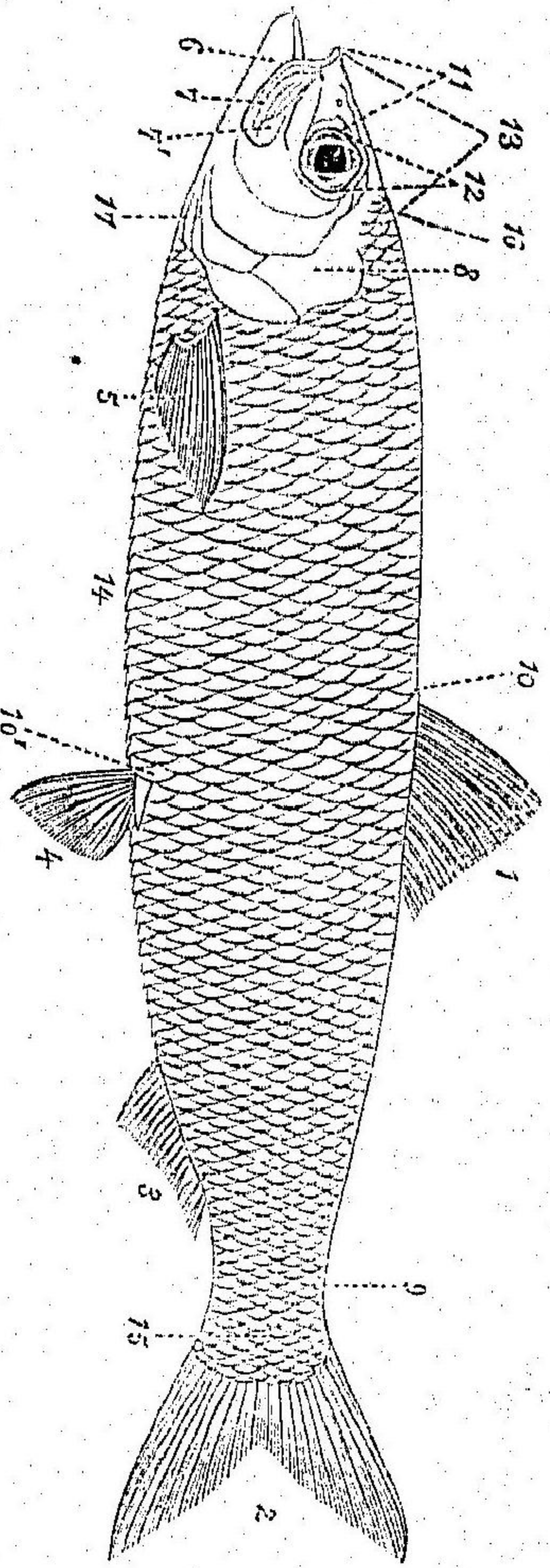
アルモノハ唯外觀ノミニヨリ識別セラル、モノモアレトモ是亦内觀ニヨルニアラザレハ嚴正ナル判斷ヲ下スコト能ハザルナリ外觀及ビ内觀ハ共ニ其要求スル處頗ル多岐ニ亘ルト雖モ概ネ左表ニ從フヲ宜トス而シテ總テ表中ノ各器官ハ其位置形狀及ビ大サヲ明記スルヲ要ス





魚體ハ之ヲ頭(Head)・軀幹(Trunk)・尾(Tail)ノ三部及ビ鰭(Fin)ノ附屬物等トス頭部トハ體ノ前端ヨリ鰓孔上角ニ至ル迄ヲ云ヒ若シ鰓蓋ニ棘(Spine)ノ如キ突起物

アレバ勿論之ヲモ包含ス軀幹トハ鰓孔ヨリ肛門ニ至ル迄ヲ云ヒ尾部トハ肛門ヨリ後方尾鰭ノ基部迄ヲ云フ總テ此等ノ各部分ノ長サ及ビ高サノ割合ハ各種類ニ

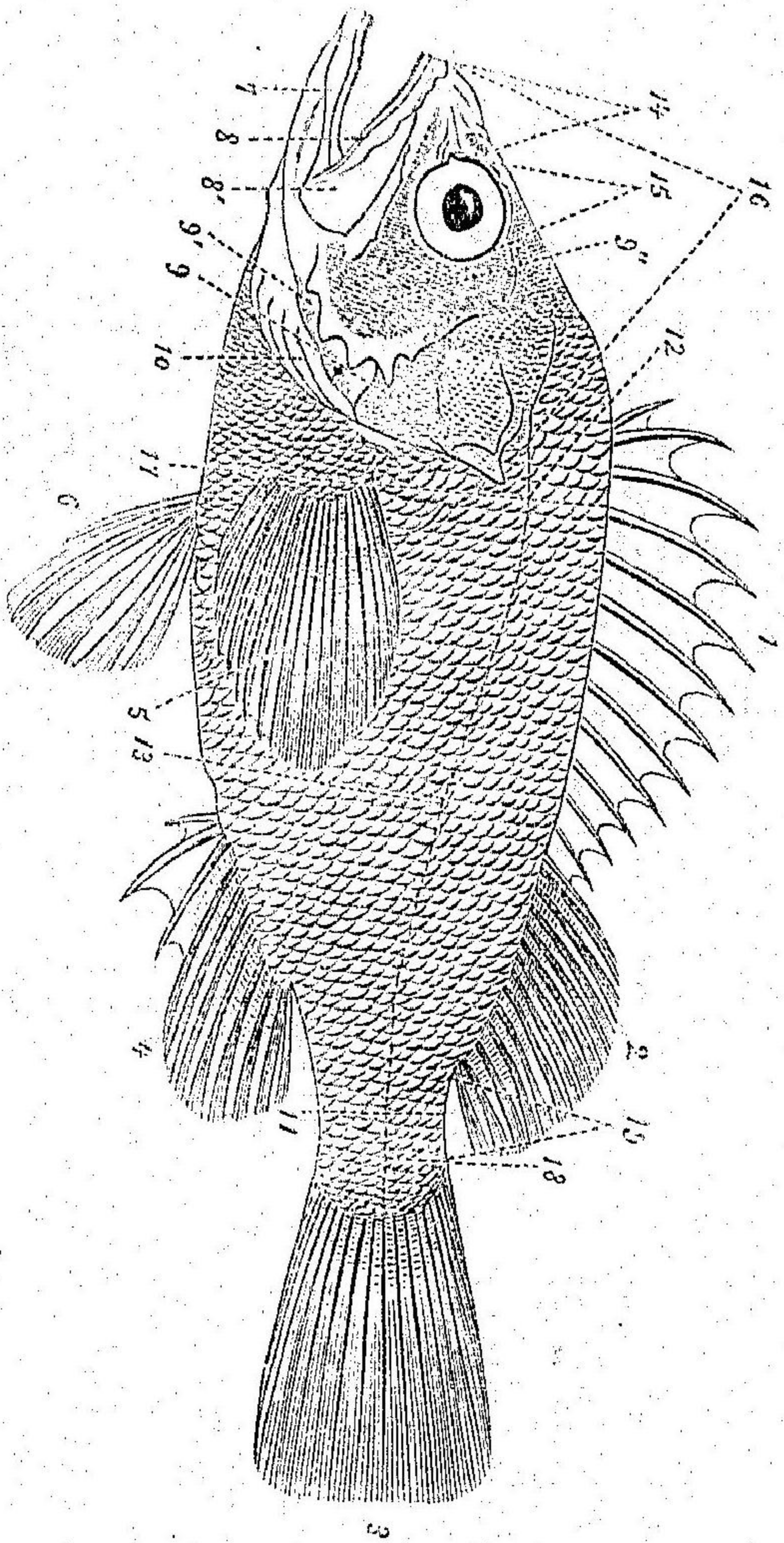


- | | | |
|------|---------|--------|
| 1 背鰭 | 7' 上顎副骨 | 13 頭 |
| 2 尾鰭 | 8 尾鰭蓋 | 14 鰓蓋 |
| 3 腹鰭 | 9 尾 | 15 尾後鰭 |
| 4 胸鰭 | 10 側線 | 16 鰓基部 |
| 5 下顎 | 10' 側線 | 17 鰓棘 |
| 6 上顎 | 11 吻 | |
| 7 上顎 | 12 眼 | |

第一圖 魚體ノ各部ノ長サ及ビ高サノ割合ハ各種類ニ

ヨリテ異ナレドモ其境界ハ既ニ述ベタルガ如ク一定シタルモノナリ而シテ體ノ長 (Length of body) サト稱スルハ其前端ヨリ尾端即チ背椎ノ最後ニ到ル迄ノ水平

ノ中軸ヲ云ヒ之ニ角ヲナス線即チ背ヨリ腹ニ至ルモノヲ高(Height of body)トス



- | | | |
|-------|----------|------------------------|
| 1 前背鰭 | 8 上顎骨 | 12 側線 |
| 2 後背鰭 | 9' 前鰓蓋骨 | 13 臀鰭前側線下鱗列ヲ前方ニ算ナル鱗ノ位置 |
| 3 尾鰭 | 9 主鰓蓋骨 | 14 吻 |
| 4 臀鰭 | 9' 後鰓蓋骨 | 15 眼 |
| 5 腹鰭 | 9'' 前鰓蓋骨 | 16 頭高 |
| 6 腹鰭 | 10 鰓條 | 17 體高 |
| 7 下顎骨 | 11 尾柄ノ高サ | 18 尾鰭ノ基部 |

本類魚類査定上際要ナル部
ニ(原圖)

前上ノ各部分ハ魚體ノ測定ニ極メテ必要ナルモノナリ尙其他體ノ前端ヨリ鰓蓋ノ後緣迄若シ後緣ニ棘等ノ突起アレバ之ヲモ測リ共ニ此等ヲ頭長(Length of Head)ト稱シ頭ノ前端ヨリ眼窩ノ前緣迄ヲ吻長(Length of Snout)ト稱シ又眼窩ノ横徑即チ眼徑(Diameter of Orbit)ト稱スルモノヲモ測定スルヲ宜シトス而シテ此等ヲ説述スルニハ頭長及ビ體高ハ之ヲ體長ニ比シ吻長及ビ眼徑ハ之ヲ頭長ニ比ス則チ此等ヲ鯉ニテ實測セルニ體長二十五せめノモノハ體高八五。頭長七。吻長三六。眼徑一二せめナリ之ヲ畧説スルニ體長ハ體高ニ三倍シ頭長ニ三倍半ス頭長ハ吻長ニ二倍半ニシテ眼徑ニ殆ンド六倍ス

以上ノ外種類ニヨリテハ外形ニ於テ猶ホ精密ニ測定ヲ要スベキモノアリ即チ兩眼ノ間隔。兩顎骨。背鰭ノ高サ。棘刺ノ長短高低等ナリ此等ハ皆之ヲ頭長ニ比ス則チ之ヲめばる(Sebastes nokodatis)ニ就キ實測スルニ上顎骨ハ眼窩ノ後緣ニ達シテ二〇四。兩眼間隔ハ四〇五せめナリ之ヲ記述スルニ頭長ハ上顎骨ニ二倍強。眼隔ニ四倍強ナリト云フ又棘刺兩鰭ハ相連接ス而シテ其接續點ハ缺刻(Notch)セリ棘鰭ノ最長刺ハ二七。頭鰭ノ最長刺ハ二四。臀鰭ノ最長刺ハ三三せめナリ則チ頭長ハ硬鰭ノ最長棘ニ二倍半以上ニシテ軟鰭ノ最長刺ニ二四倍シ臀

鰭ノ最長棘ニ三三倍スト云フ

體形。魚類ヲ採集スレバ先ツ其體形ニ注意スベシ魚體ハ概ネ側扁 (Compressed) ス而モ習性ニヨリテ多少ノ變異アリ海中ヲ突進スルモノハ軀幹短小圓滑ニシテ頭尾ハ較々尖銳ナリ故ニ宛モ紡錘形 (Fusiform) ヲナス之ニ反シテ水底ニ棲息スルモノハ概ネ扁平 (Depressed) ニシテ時ニ或ハ盤狀 (Disk) ヲナスモノアリ此等ノ差異モ或ハ體軀ノ一局部ニ限ルコトアリ或ハ全汎ニ亘ルコトアリ斯ノ如ク雷ニ形狀ニ於テ相違アルノミナラズ其表面ニ棘刺等ノ附屬物ヲ有スルコトアリ殊ニ頭部ニ於テ然リトス

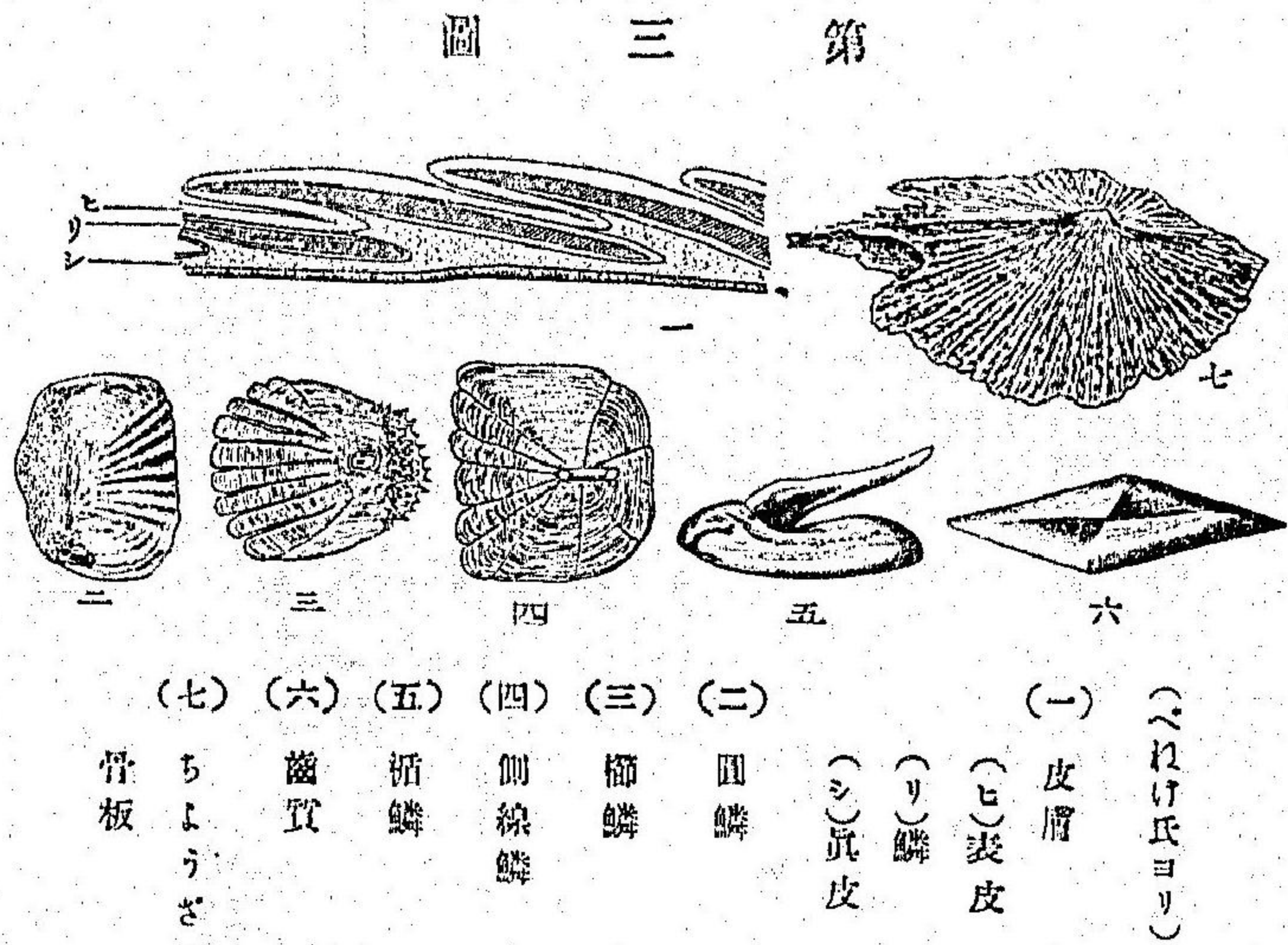
色彩。魚ノ色彩ハ之ヲ區別シテ背部腹部及ビ體側等トス此等ハ真皮中ニ存在スル色素ニ依リ又或ハ色素細胞ニ依ル而シテ銀色ノ光澤ハ表皮中ニアルぐあにんノ結晶體ニヨル色彩ニハ極メテ單調ナルモノアリ又ハ數色銜錯シテ頗ル艷麗ナルモノアリ其單調ナルモノハ多ク海洋性 (Pelagic) ニシテ水ノ上層ヲ群游シ又ハ水底ニ潜伏スルモノニシテ蒼色或ハ灰褐色ニ類シ艷麗ナルモノハ近海性 (Littoral) ニシテ岩礁間ヲ優游シ紅紫青黃其他ヲ帶ブルモノナリ總テ色彩ハ背部ニ濃クシテ腹部ニ淡シ其境界ハ概ネ判然ナラズ時ニ或ハ種々ノ斑點斑紋彫紋雲紋條

文帶紋等ヲ有スルモノアリ此等ノ疎密ハ各種トモ均一ナラズ又々個體ニヨリテ異ナルヲ以テ種別スルニ於テ深ク拘泥スベカラズ例之さばトゴマさばトハ斑紋ノ差別ハアルモ素ト同一種ナリトス魚類ノ體色ハ概ネ一定不變ナリ然レドモた

いノ如ク生殖部ニ於テ特ニ其艷麗ヲ増スモノアリ或ハひらめノ如ク色素細胞ヲ伸縮シテ色ノ濃淡ヲ變化スルモノアリ總テ此色彩ハ魚類ヲ如何ナル藥液ニ漬クルモ若干時ノ後ハ必ず褪滅ス故ニ魚類ヲ採集シタル時ハ直ニ其色彩ヲ記載セザル可カラズ但シ之ヲ唯文章ノミニヨリテ表スルハ難シ故ニ可成的魚體ヲ寫生シ之ニ色彩ヲ施スヲ宜シトス

鱗。魚類ノ皮膚ハ鱗ヲ以テ覆ハル其所在ハ軀幹及ビ尾部ノミニ限レルコトアリ或ハ頰ニ及ブモノアリ甚シキハ鰭ノ根基ヲ被フモノアリ鱗ハ皮膚ノ真皮中ニ生ジ角質ニシテ其上ニハ透明ナル薄膜アリ然レドモ往々此膜ノ厚クシテ全ク鱗ヲ隱蔽スルモノモアリ鱗ハ通常覆瓦狀ヲナシテ相斜臥シ其前部ハ全ク掩ハレ唯其後部ノミ外面ニ露出ス但ダさめ類ニアリテ皆其側緣ニヨリテ駢列ス鱗ハ薄ク透明ニシテ之ヲ熟視スレバ植物ノ年環ノ如ク疎密ノ層アリ其形狀ヲ大別スレハ凡ソ之ヲ四種トス其内二種ハ硬骨類ノ有スルモノ他ノ二種ハ硬鱗類及ヒ板鰓類ノ

鱗ノ各種及ビ皮膚断面



有スルモノナリ而シテ其形較々圓ク其質薄クシテ邊緣極メテ平滑ナルモノハ之ヲ圓鱗 (Cycloid) ト云ヒ其質之ヨリ稍ヤ堅ク其形圓又ハ卵圓ニシテ前縁多少櫛齒狀ヲナスモノヲ櫛鱗 (Ctenoid) ト云ヒ此二種ハ硬骨類ノ有スルモノナリ他ハ堅硬ナル骨質ニシテ或ハ更ニ珧瑯質ヲ以テ其表面ヲ被フモノアリ而シテ其形ハ概ネ斜方形ニシテ中央ニ隆起ス之ヲ齒質鱗 (Ganoid) ト云フ又其質并ニ形ハ共ニ前種ニ類スレドモ中央ニ甚ダ著シキ粒狀突起ヲ有スルモノアリ之ヲ楯鱗 (Placoid) ト云フ

以上各種ノ鱗ハ同一種ノ魚類ニアリテハ其性質概ネ皆相同ジ但ダ硬骨類ノモ

ノニテハ其體側ヲ縱走スル一列ノ他ト異ナリテ外觀宛モ表面ニ一線ヲ劃シタルガ如キアリ之ヲ側線 (Lateral line) ト云フ是レ此線上ニ列スル各鱗上ニハ皆管狀微孔ヲ有スルニ依ル然レドモ魚種ニヨリテハ管ニ此孔ヲ有スルノミナラズ其形狀ニ甚ダシキ特徴ヲ有スルモノアリあぢ科ノ魚類ノ如シ又タ或ハ單ニ其形ノ他ヨリ少シク異レルモノアリ側線ハ通常一條ニシテ鰓孔上角ヨリ尾部ニ走り又タ頭部ヨリ尾端ニ至リ或ハ尾鳍ニ及ブコトアリ其形狀概ネ前方ニ於テ彎曲シ或ハ斷續スルコトアリ若シ側線三條以上ナル時ハ背腹等ニ扁在ス側線鱗ノ數ヲ測定スルハ魚類ヲ調査スルニ緊要ナル條項ニシテ又タ之ニ加フルニ側線上ニ平行スル直上ノ鱗數ヲ算シ側線ニシテ斷續スル時ハ其缺キタル部分ヲモ算入ス又背鳍ノ前端ヨリ斜ニ後方側線迄及ビ此線ヨリ更ニ肛門或ハ臀鳍ノ前端ニ至ル迄ノ鱗數トヲ算シ之ヲ一定ノ法式ニヨリ記載ス例之こゝノ鱗式ハ Lat. L. 33-40 $\frac{5-6}{5-6}$ 32-39 ナリ是レ側線上ノ鱗數ハ三十二枚乃至三十九枚其直上列ハ三十三枚乃至四十枚ニシテ側線ノ上下ニアルモノハ各五、六枚ナルノ義ナリ又あら類ニ就キテ記載スレバ Lat. L. 11-85-25 ナリ是ハ側線鱗ハ其數八十五枚ニシテ其上部ハ十一枚其下部ハ二十五枚ノ横列ヲ有スルノ謂ヒナリ側線鱗ニシテ孔ヲ缺クカ又ハ特別ノ形

狀ヲ備フルモノニ特ニ明記スルヲ要ス、かさごハ此前例ニシテ其鱗式ハ 31; pores, 28 ナリ即チ側線鱗ノ全數ハ三十一枚就中孔ヲ有スルモノ二十八枚ノ義ナリ
鱗ニハ尙ホ側線ヲナスモノ、外ニ種類ニヨリテ一定ノ部分ニ特種ヲ備フルモノ
アリ例之にしん科ノ魚類ノ腹底ニアリテ梁ヲナス稜鱗及ビさんまノ腹底ニ近ク
存在スル左右各一條ノ稜鱗等是ナリ

口。口ハ吻端ニアリ其位置或ハ高クシテ背部ニ近ク (High) 或ハ低クシテ腹部ニ
接ス (Low) 其方向或ハ水平 (Straight) ニ或ハ傾斜 (Oblique) ス而シテ其開裂 (Cleft)
モ或ハ淺ク (Terminal) 或ハ深クシテ遠ク眼下ヲ超ユルコトアリ (Lateral) 口ハ上下
兩顎ニヨリテ區劃セラル其長サ等シキモノアリ或ハ一顎殊ニ延長シテ劍狀ヲナ
スモノアリ顎ハ或ハ裸出シ或ハ稍ヤ厚キ皮膜ヲ被ハレテ唇 (Lip) ヲ構成シ或ハ
唇襞 (Labial fold) ヲ有ス又其附屬トシテ鬚 (Barbel) ヲ有スルモノアリこゝひめぢ
等ノ如シ上顎 (Upper jaw) ハ前顎骨 (Premaxillary) 及ビ上顎骨 (Maxillary) ヲリナリ
下顎 (Lower jaw) ハ下顎骨 (Mandible) ヲリナル前顎骨ハ種類ニヨリ其長短ニ甚シキ
差異アリ或ハ上顎ノ殆ンド全長ヲナスモノアリ或ハ短縮シテ僅ニ上顎ノ前端ヲ
ナスモノアリ上顎骨ハ之ニ準ジテ亦長短アリ而シテ顎ヲ爲ス諸骨ハ概ネ癒着ス

レドモ前顎骨ノミハ隨意ニ伸縮 (Protractile) スルコトアリ

眼。眼ハ頭部ノ兩側面ニアリ其所在ハ或ハ高ク或ハ低シ然レドモあこぜ科ノ如
ク頭部ノ較ヤ扁壓シタル種類ニアリテハ頭上ニ位シひらめ科ノ如ク側偏ノ度甚
シキモノニアリテハ兩眼共ニ頭ノ彩色アル一方ニ偏在ス而シテ兩眼ノ間ハ特ニ
之ヲ眼隔 (Inter-orbital space) ト云ヒ或ハ接近シ或ハ隔離シ或ハ平坦ナルコトアリ
或ハ凹窪ナルコトアリ或ハ凸起スルコトアリ眼ハ魚類ノ幼稚ナル時ハ概ネ大ニ
シテ其成熟スル頃ニ至レハ中庸トナル然レドモ深海或ハ光線ノ徹透不十分ナル
處ニ棲ムモノハむつノ如ク大ナルモノヲ有ス眼ノ構造ハ皆殆ント相等シ但ダさ
ばいな等ハ冬期其角膜ノ下方ニ脂肪ヲ貯蓄スルニヨリ其質變ジテ白色不透明ト
ナリ翌春再ビ透明トナル又さめ類ニアリテハ瞬膜 (Nictating membrane) ヲ有スル
モノアリ

鼻孔。鼻孔ハ吻ノ背面又ハ側面ニアリテ一對ヲナス盲囊ナリ其外孔ハ二個ニ
別レ前孔ノミ瓣又ハ管ヲ有ス但シさめ、たい類ニアリテハ外孔一個ニシテ吻ノ下
面ニアリテ口ト相通ズ此孔ニハ能ク發達シタル瓣アリ筋肉ニヨリテ能ク運動ス
排水孔。此孔ハさめ類ノミニアリ眼後ニ接シテ存スル小管ニシテ内ハ咽頭ニ

開キ外ハ頭部ノ背面ニ開キテ其口ハ瓣ニヨリ保護セラル此孔ハ素ト稚仔ノ時ニハ總テノ魚類ニアレドモ體ノ發育ト共ニ消滅シタルモノナリ

鰓蓋。 鰓蓋ハ頭部ノ後方ニアル扁平ナル骨ニシテ其表面ハ皮膜ヲ以テ被ハレ或ハ更ニ鱗ヲ被ムルモノアリ其構造ハ四片ノ小骨ヨリナル其最モ前端ニアルモノハ之ヲ前鰓蓋骨 (Preopaculum) ト云ヒ其後縁及ビ下縁ハ或ハ鋸齒狀ヲナシ或ハ勁棘ヲ有スルコトアリ此骨ハ或種ニアリテハ支骨 (Bony stay) ニヨリ眼下環ヲナス小骨ト環節スルコトアリ主鰓蓋骨ノ後方ニアリテ稍ヤ大ナル方形ヲナスモノハ之ヲ主鰓蓋骨 (Operculum) ト云フ其後縁及ビ下縁モ亦鋸齒或ハ勁棘ヲ備フルコトアリ主鰓蓋骨ノ下方ニアリテ長方形ヲナスモノヲ後鰓蓋骨 (Suboperculum) ト云ヒ前鰓蓋骨ノ下方ニアルモノヲ中鰓蓋骨 (Interoperculum) ト云フ鰓蓋ハ鰓ヲ覆ヒ之ヲ保護スルモノニシテ板鰓類ニハナク硬骨類及ビ硬鱗類ノミニ存在ス

鰓孔。 鰓孔 (Gill opening) ハ總テ鰓蓋ノ頭部ト游離シタル部分ヲ云フ故ニ或ハ淵ク或ハ狭ク而モ呼吸ノ時ハ必ず閉閉ス此閉鎖ヲシテ親密ナラシムルガ爲メ鰓蓋被膜ノ後縁延長ス之ヲ鰓條膜 (Gill membrane) ト稱スさめ、悉以等ニハ鰓蓋ノナキハ既ニ陳ベタルガ如シ其位置ハさめ類ニテハ體側ニアリテ横裂シえい類ニテ

ハ腹部ニアリテ亦横裂ス鰓孔ノ數ハ通常一對ナリ然レドモさめニテハ五對、らぶかニテハ六對あぶらさめニテハ七對アリトス

咽峽。 咽峽トハ左右下顎骨間及ビ左右鰓孔間ノ部分ヲ云ヒ多クハ舌弓ノ下方ニ位シ韌帶ヲ以テ肩帶ノ前端ニ連續スル一小骨ニヨリ生ズル區域ナリ此區域モ亦種類ニヨリテ其廣狹ニ多少ノ差アリ

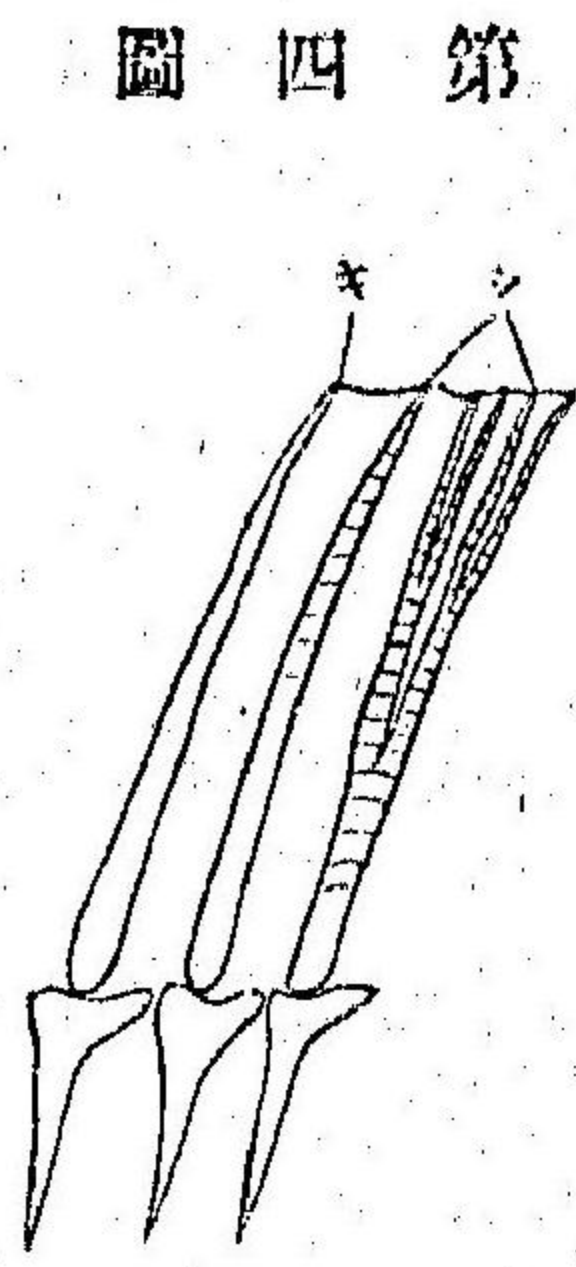
軀幹。 軀幹ハ概ネ背部ニ回クシテ腹部ニ較ヤ側扁ス然レドモたい類ノ如ク背鱗ノ根基ハ左右隆起シテ溝ヲナスモノアリ或ハにしんノ如ク腹底尖鋭トナリ特種ノ鱗列ヲ有スルモノアリ

尾。 尾ハ其長サニ非常ノ差異アリ其形狀モ亦種々アリたちのうをノ如ク甚ダシク側扁シタルアリ或ハうなぎノ如ク圓キモノアリ何レニテモ鱗ノ無キ部分ハ之ヲ尾柄 (Caudal peduncle) ト云フ尾柄ハ時トシテハ其左右兩側ニ肉質ノ梁狀突起 (Keel or ridge) ヲ有スルモノアリ又さめ類ノ如ク其尾鰭ト相接スル部分ニ凹窪 (Pit) ヲ有スルモノアリ

鰭。 鰭ハ魚類分類上緊要ナル部分ニシテ其附着ノ狀況ニヨリ之ヲ奇鰭 (Vertical fin) 及ビ偶鰭 (horizontal fin) ニ區別ス偶鰭トハ體側ノ左右ニ水平ニ附着スル胸鰭及

ビ腹鰭ヲ云フ胸鰭ハ概ネ鰓蓋ニ接シテ存在シ其位置背部ニ近キ時ハ之ヲ高
 (High) シト云ヒ其腹部ニ近キ時ハ之ヲ低 (Low) シト云フ腹鰭ハ軀幹ノ腹側或ハ
 腹底ニアリ而シテ其位置胸鰭ノ前方ニアレバ之ヲ咽位 (Jugular) ト云ヒ其後方ニ
 アルモ尙近ケレバ之ヲ胸位 (Thoracic) ト云ヒ之ヲ去ルコト遠ケレバ之ヲ腹位
 (Abdominal) ト云フ腹位ハ又左右トモ腹底ニアルモノハ互ニ相接近シ或ハ癒着シ
 テ盤狀 (Disc) ヲナスハぜ類是ナリ尙ホさめ類ニアリテハ腹鰭ノ内縁ハ棍棒狀ト
 ナリ交接器ニ變ズ奇鰭トハ魚體ノ正中ニ位スルモノニシテ之ヲ類別シテ背鰭
 臀鰭及ビ尾鰭等トス背鰭ハ一基乃至三基アリ其一基ナル時ニテモ或ハラなぎノ
 如ク背側全長ニ延ビ尾鰭ト相連續スルアリ或ハひらめ等ノ如ク背長ニ沿ヒテ長
 キモノアリ或ハいわし等ノ如キ短キモノアリ而シテニ基アル時ハ之ヲ前背鰭
 (First dorsal) 及ビ後背鰭 (Second dorsal) ニ區別ス前背鰭ハ概ネ皆能ク發達シ其内
 ニアル鰭條ハ通常剛強ナリ又三基ヲ有スルモノハ極メテ少ク僅ニたら類ニ過キ
 ズ然レドモ時トシテハ後背鰭ノ一部分離シテ尾柄上ニ散在シ小鰭トナルコトア
 リ其質脂肪性ナルモノハさけ類ノ特徴ニシテ之ヲ脂鰭 (Adipose fin) ト云ヒ小鰭
 ノ形狀普通ノ背鰭ニ似テ其數多キモノハ之ヲ副鰭 (Finlet) ト云フ臀鰭ハ肛門ノ

直後ニアリ其後方亦分離シテ背鰭ト同シク副鰭ヲ爲ス凡ソ臀鰭ハ其形狀ニ於テ
 能ク背鰭殊ニ後背鰭ニ似テ概ネ之ト相對時ス總テ背鰭及ビ臀鰭ハ體長ニ沿フテ
 延ビタル時ハ之ヲ長シト云ヒ否ラザルモノハ之ヲ短シト云フ而シテ鰭條ノ長キ
 ハ之ヲ高シト云ヒ否ラザルモノハ之ヲ低シト云フ此高低ノ順序ハ種類ニヨリテ
 異ナレリトス尾鰭ハ尾端ニアリテ之ヲ圓ム其形狀全ク半圓ヲナスカ又ハ分岐シ
 テ上下ノ兩葉ヲ爲ス此兩葉ノ整齊ナルモノハ之ヲ正尾 (Homocercal) ト云ヒ其一
 葉ノミ特ニ延長シタルモノヲ不正尾 (Heterocercal) ト云フトびのうをさめ類等
 ナリ而シテさめ類ニアリテハ延長シタル尾葉ノ先端ニ裂刻ヲ有スルモノアリ
 鰭ハ其皮膚内ニ骨又ハ軟骨ノ鰭條 (Fin ray) ヲ有シ之ニ依リテ隨意ニ開閉ス鰭條



ニハ棘 (Spine) ト刺 (Ray) トアリ棘トハ其質剛
 直ニシテ尖銳ナルモノヲ云ヒ多クハ鰭ノ前部
 ヲ占メ或ハ前背鰭ノ如ク其全部ヲ占ムルモノ
 アリ刺トハ其質軟弱ニシテ數多ノ環節ヨリナ
 ルカ或ハ其先端分裂シテ容易ニ撓屈シ易キモ
 ノヲ云フ斯ノ如クシテ鰭條ノ棘ノミヨリ成ルヲ棘鰭 (Acanthopterygian) ト云ヒ其

多分刺ノミヨリナルモノヲ刺鰭 (Malacopterygian) ト云フ

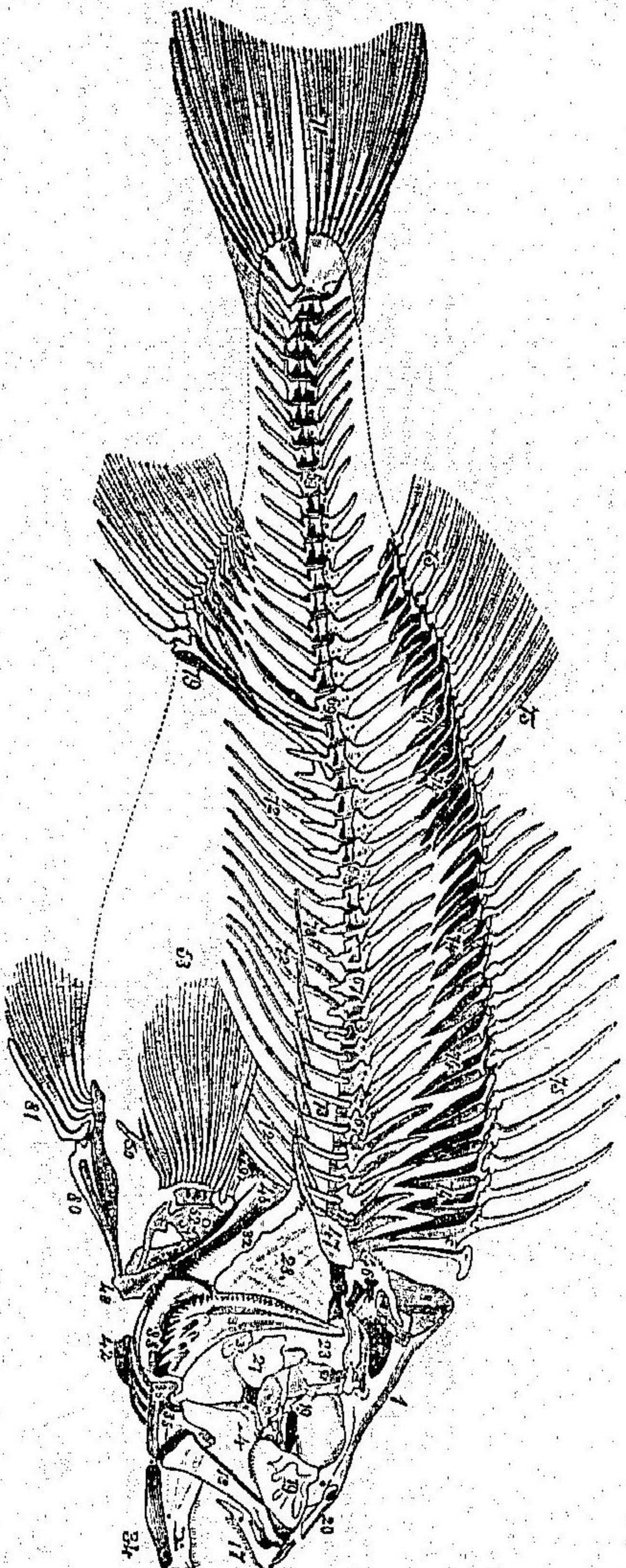
魚類ヲ分類スルニハ鰭條ヲ算スルヲ緊要ナリトス是レ其數ハ魚種ニヨリテ殆ソド一定シテ變化スルコト尠ナキニ依ル就中背鰭及ビ臀鰭トノ鰭條ハ背椎ト聯關シ其數互ニ相等シキガ故ニ屬種等ノ性質ヲ表ハスニ極メテ適當ナリトス而シテ常ニ之ヲ記スルニ符號ヲ用キ棘ヲ示スニ^ろうま數字ヲ以テシ刺ヲ示スニ^{あら}びや數字ヲ以テス而シテ棘刺連續スルトキハ此等ノ數字ヲ連記シ若シ分離スルトキハ其間ニ[、]ヲ挿入シテ斯ノ意義ヲ表ハス例之^こソノ鰭ハ D. III-IV, 17-22; P. I 5-16; V. II 8-9; A. III 5-6; C. 17-19 右ノ如ク背鰭(D)ハ一基ニシテ三四棘ト十七刺乃至二十二刺ヨリナリ胸鰭(P)ハ一棘。十五刺乃至十六刺ヨリナリ腹鰭(V)ハ二棘ハ九刺ヨリナリ臀鰭(A)ハ三棘五六刺ヨリナリ尾鰭(C)ハ十七刺乃至十九刺ヨリナルヲ知ル副鰭若クハ脂鰭ノ如キ特別ナル小鰭ハ^ろうま數字ヲ以テ其數ヲ棘ト同様ニ書スルナリ^らばノ副鰭ハ D. IX-XI, I II, V; A. II II, V ナリ之ヲ説述スレバ前背鰭ハ九棘乃至十一棘。後背鰭ハ一棘十一刺及ビ五副鰭トニシテ臀鰭ハ二棘十一刺及ビ五副鰭等ヨリナル

内景。内景一斑ニ就キテハ魚類査定上特ニ記スベキコトナシ唯體腔ヲ被フ腹

膜ニハ固有ノ色素ヲ含ミテ種類ノ特徴ヲ表ハスモノアリ例之^いわし科^こい科ノ内ハへ類等ノ如シ

齒。齒ノ説明ヲ爲サンニハ其附着スル各種ノ骨ニ就キ其關係ヲ明ニセザル可カラズ而シ其第一ノ順序トシテ先ゾ頭部ニ於ケル骨格ヲ概括スベシ

頭部ノ骨格ハ之ヲ區分シテ頭蓋骨 (Cranial bone) 及ビ顔面骨 (Facial bone) ノ二種トス頭蓋骨トハ腦髓及ビ感覺器ヲ包圍スル部分ニシテ函狀ヲナシ數多ノ小骨相縫合シテ成レドモ較ヤ小ナリ顔面骨ハ亦數多ノ扁平ナル骨ヨリナリ能ク運動ス之ヲ細分スレバ更ニ口蓋及ビ鰓蓋ノ二部トナル口蓋ハ其前方ハ顎骨ニシテ後方ハ鰓弓 (Branchial arch) 及ビ舌弓 (Hyoid arch) ニヨリ區劃セラレ其上方ハ鋤骨 (Vomer) 底楔狀骨 (Basisphenoid) 口蓋骨 (Palatine) 及ビ翼狀骨 (Pterygoid) 等ヨリナリ其下方ハ舌骨 (Hyoid bone) ヨリ成ル顎骨ハ上下ノ兩顎ノ區別アリ之ヲ構成スル骨ノ種別ハ既ニ前陳バタルガ如シ鋤骨ハ細長ニシテ口蓋ノ中央ニ位シ其前端ハ上顎ノ諸骨ト關節シ其後端ハ頭蓋骨ノ底楔狀骨ト關係ス而シテ其左右ニハ口蓋骨アリ其前端ハ鋤骨及ビ上顎ノ諸骨ニ接シ其後端ハ翼狀骨ニ接ス舌骨ハ短小ニシテ其左右ニ舌弓アリテ相聯關シ又其内方ニ鰓弓ヲ附着ス鰓弓ハ五對アリテ細長ク皆較

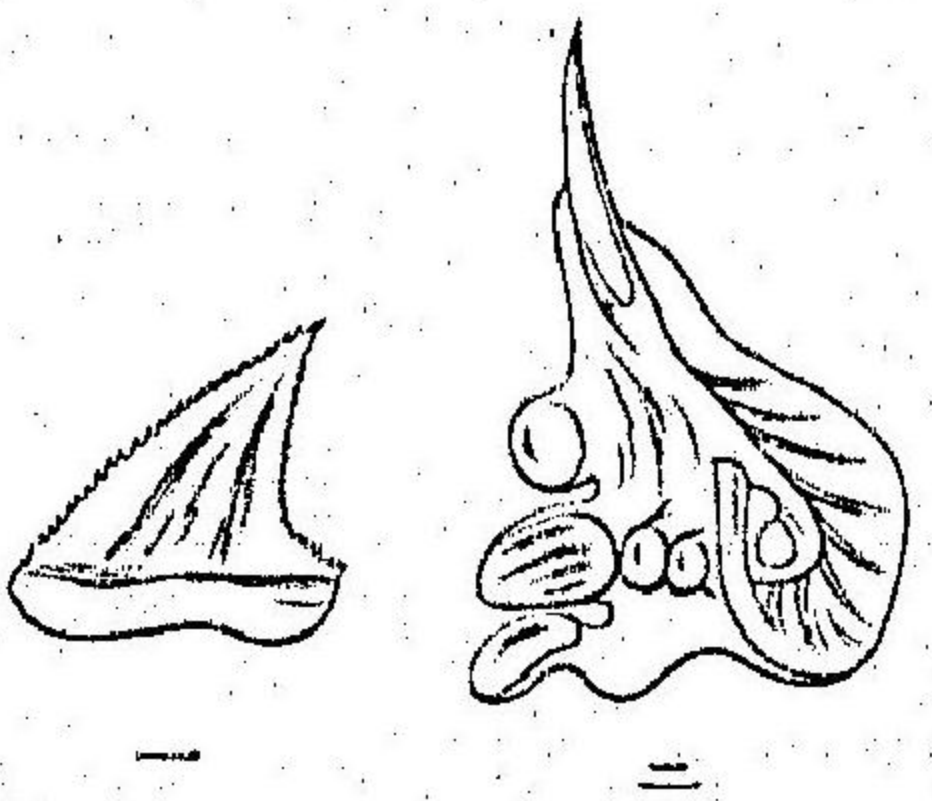


- 1 前頭骨 Frontal
- 7 鰓頂骨 Parietal
- 8 上後頭骨 Supraoccipital
- 17 前顴骨 Premaxillary
- 18 上顴骨 Maxillary
- 19 眼下環 Infraorbital
- 20 鼻骨 Turbinal
- 23 舌顴骨 Hyomandibular
- 24 翼狀骨 Iterygoid
- 27 後翼狀骨 Metapterygoid
- 28 主鰓蓋骨 Operculum
- 30 前鰓蓋骨 Preoperculum
- 31 中鼓室骨 Os symplecticum
- 32 後鰓蓋骨 Suboperculum
- 33 中鰓蓋骨 Interoperculum
- 34 齒骨(下顎) Dentary
- 35 齒骨(同上) Articular
- 36 角骨(同上) Angular
- 46 後顴骨 Post-temporal
- 47 上鎖骨 Suprclavicular
- 48 鎖骨 Clavicular
- 43 後鎖骨 Post-clavicular
- 50 同 上
- 51 烏喙骨 Coracoid
- 52 肩胛骨 Scapula
- 67 腹椎 Abdominal
- 68 同 上
- 69 尾椎 Caudal vertebrae
- 71 尾鰭條 Caudal ray
- 72 肋 Ribs
- 73 胸上棘 Epipleural
- 74 間神經棘 Interneural
- 75 背鰭條 Dorsal ray and spine
- 79 間血管棘 Interhemal spine
- 80 耻骨 Pubic
- 81 腹鰭棘 Ventral space

第 五 圖

魚 類 骨 格 (ハタケ氏マ)

第 六 圖



(一)めさ(二)こい咽頭齒

ヤ長キ數個ノ骨片ヨリ成リ其四對ハ皆彎曲シ其上端ハ頭蓋骨ノ底面ニ關節シ其
 下端ハ舌弓ニ附着ス鰓弓ノ内縁ニハ之ヲ鰓耙(Gill raker)アリ其前縁ニハ鰓葉ヲ
 附着ス然レドモ第四對ノ鰓弓ノミハ多少其形狀ヲ異ニス殊ニ其上端ハ擴大シテ
 表面ニ齒狀突起ヲ有ス上咽頭齒(Upper Pharyngeal teeth)ト云フ而シテ鰓弓ノ第五

齒 (原圖)

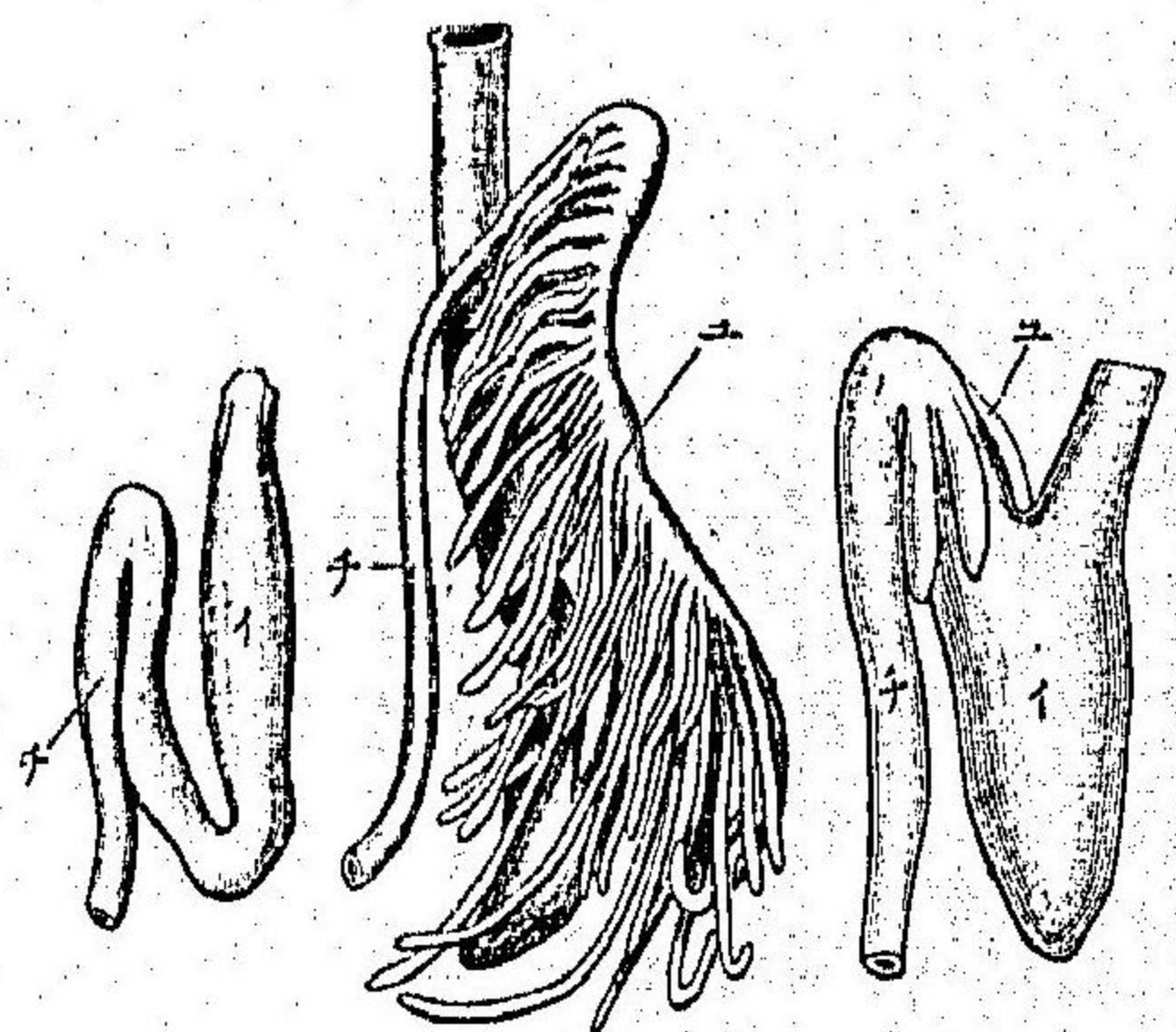
對ハ鰓及び鰓耙ヲ有スルコトナキモ第四對ニ對峙
 シテ亦其擴大セル上端ノ表面ニ齒狀突起ヲ有ス故
 ニ之ヲ下咽頭齒(Lower pharyngeal-teeth)ト云フ鰓蓋
 ハ口蓋ノ後方ニアリ之ヲ構成スル骨ノ種類ハ既ニ
 前陳ベタルガ如シ

齒。齒質ヨリナリ其形狀ハ魚類ニヨリ大差アリさ
 め類ニテハ皆強壯ニシテ概ネ三角形ヲナシ其邊緣
 ハ尖銳ニシテ又數個ノ尖頭(Cusp)ヲ有スルモノアリ或ハ齒ノ基部ニ數個ノ尖銳
 ナル小齒(Denticle)ヲ備フルモノアリ硬骨類ニテハ多ク圓錐形(Conical)ヲナシテ
 概ネ稍ヤ後方ニ曲ガリ而シテ魚類ニヨリテハ特種ノ形狀ヲ備フルモノアリテ之
 ヲ區別スレハ門齒(Incisor)犬齒(Canine)及ヒ臼齒(Molar)トナル而モ同一種ノ魚

ニシテ此三種ヲ備フルモノ殆ント稀ナリ齒ノ配列ハ種々アリ或ハ一列又ハ數列
 シ或ハ疎ニ或ハ密ニ或ハ帶狀ヲナシ或ハ叢狀ヲナス斯ノ如キ齒列ニシテ殆ンド
 一定ノ形狀ヲ備フルモノハ亦特別ノ名アリ例之やつこだい科ノ魚類ノ齒ハ微弱
 ニシテ數列密集ス之ヲ剛毛狀 (Setiform) ト云フむつあまだいほうぼう等ノ齒ハ細
 小ナル圓錐形ニシテ密集ス之ヲ絨毛狀 (Villiform) ト云ヒあんこうノ齒ハ圓錐形
 ニシテ疎立内彎ス之ヲ梳形狀 (Cardiform) ト云フ此等ノ齒ハ上下兩顎就中前顎下
 顎等ノ諸骨ニアリテ其齒槽中ニ生ズルノミナラズ屢々鋤骨、口蓋骨、底楔狀骨及ビ
 舌骨等ニモ有在ス加之ナラズ咽頭骨ニモ齒狀突起ヲ有スルコト既ニ述ベタルガ
 如シ此突起ノ數ハこい科ノ特徴ニシテ分類上緊要ナルモノナリ之ヲ檢査セント
 スルニハ解剖針又ハピンヲ探リ鰓孔ヨリ肩帶骨下ニ針ヲ入レ咽頭骨ヲ脱離セシ
 メ之ヲ湯ニ入レテ小刷毛ヲ以テ丁寧ニ附着セル肉ヲ去リ齒列ヲ視ルベシ此列モ
 亦あらびや數字ノ符號ヲ以テ表ハス例之 "Teeth 6, 3, 2-2, 3, 6" ハ齒ハ左右各三例
 アリテ主列六個次列三個、三列即チ内列ハ二個アルノ謂ヒニシテ Teeth 4-4 ハ左右
 一列各四個アルノ謂ヒナリ

胃。胃ハ消化管ノ一部擴張シタル處ニシテ其前方ハ食道ニ通ジ其後方ハ腸ニ

圖 七 第



一 (一) 胃
 二 (二) 胃
 三 (三) 胃

通ズ而シテ食道トノ關門ハ之ヲ贛門 (Cardia) ト稱シ其腸トノ關門ハ之ヲ幽門 (Pylorus) ト云フ此等ノ區別ハ概ネ判然タレドモ或ハさんまうなぎ類ノ如ク頗ル
 簡單ニシテ區別シ難キモノアリ而シテ胃ノ殊ニ能ク發達シタルモノニテハ一種
 ノ形狀ヲ爲シ或ハ曲管狀 (Siphonal) 或

ハ盲囊狀 (Cecal) ヲナス加之其幽門ノ
 附近ニ特別ノ盲囊ヲ附着ス之ヲ幽門垂
 (Pyloric caecum) ト云フ俗ニみのわた是
 ナリ其數ハ一個(いかなご)乃至二百個以
 上(さば)アリ其數少キモノハ短クシテ太
 ク其數多キモノハ細クシテ長シ腸ハ魚
 類ノ常食ニヨリ多少ノ差異アリ肉食ス
 ルモノハ短クシテ太ク蔬食スルモノハ
 細クシテ長ク且ツ數回屈曲ス腸ノ内壁ニハ皆概ネ皺褶アリテ縱走ス但ダさめえ
 い類ニアリテハ此皺褶ハ螺旋狀ヲ爲ス

鰓。鰓ハ背椎ノ直下ニ沿長シちようさめ類及ビ硬骨類ニ存在スルノミ其構造ハ

いわし等ノ如ク簡單ナル囊狀ナルカ或ハこい等ノ如ク甚ダシク中央ニ縊レタルアリ或ハ其周邊ニ總狀ノ縁ヲ有スルモノアリ鰓ハ消化管ト細長ナル小管ニヨリ聯絡スルモノアリ又ハ全ク體腔中ニ孤立スルモノモアリ共ニ内部ニハ瓦斯ヲ含ム

擬鰓。 又副鰓トモ云フ魚類ハ其稚時ニ當リテハ成時ヨリモ多數ノ鰓ヲ有ス而シテ其數ハ魚ノ發生スル後ハ消滅シ其内若干ハ殘存シテ呼吸ヲ補助スルニ至ル是即チ擬鰓ナリ其所在ハ硬骨類ニテハ鰓腔内ニアリさめ類ニテハ排水孔中ニアリ

鰓條。鰓條ハ數片ノ小骨ヨリナル舌弓ノ下縁ニ附着スル細長ニシテ刃形ヲナス骨ナリ其數概ネ七個ニシテ常ニ之ヲ覆フニ薄膜ヲ以テス之ヲ鰓條膜(Branchiostegal membrane)ト云フ此膜ハ鰓蓋ノ内方ニアリテ外部ヨリ觀ルヲ得ベシ而シテ概ネ皆左右ニ分離獨立スルモ種類ニヨリテハ喉部ニ於テ互ニ癒着スルコトアリ

鰓耙。 鰓耙ハ鰓弓ノ内縁ニ存在スルコトハ既ニ前ニ陳ベタルガ如シ其形ハ鋸齒狀又ハ櫛齒狀ヲナス

日本魚類ヲ記載セル主要參考書目

Bleeker, P.—*Bijdr. t. de Kenn. d. Ichthyol. Fauna v. Japon.*

—*Énumération des espèces de Poissons actuellement connues du Japon et description de trois espèces inédites.*

Brevoort, J. C.—*Notes on Japanese Fishes, taken during the U. S. Japan Expedition.*

Day, F.—*The Fishes of India.*

Goode, G. B. & Bean, T. H.—*Oceanic Ichthyology.*

Gunther, A.—*Report of the Scientific Result of the Voyage of the "Challenger."*

Gunther, A.—*Catalogue of Fishes.*

Heincke, F.—*Naturgeschichte des Herings.*

Isihikawa, C.—*Notes on Two New Species of Fishes from the Lake Biwa.*

Jordan, D. S. & Evermann, B. W.—*Fishes of North & Middle America.*

McIntosh, W. C. & Prince, E. E.—*Development and Life History of the Teleostean Fishes.*

- Schlegel & Temminck.—Fauna Japonica.
- Steindachner, F. H. & Döderlein, L.—Beiträge zur Kenntniss der Fische Japans.
- Jordan, D. S. & Gilbert, C. H.—The Fishes of Bering Sea—Report of Fur-seal Investigation, Part III, 1896—1897.
- Jordan, D. S. & Starks, E. C.—On the Relationships of the Lutianoid Fish, *Aphareus Furcatus*,—Proceedings of the U. S. National Museum vol. XXXIII, pp. 719—723; Washington, 1901.
- Jordan, D. S. & Snyder, J. O.—A Review of Lancets, Hag-Fishes, and Lampreys of Japan, with a Description of Two New Species—id, vol. XXIII, pp 725—734.
- A Review of the Apodal Fishes or Eel of Japan.—id, vol. XXIII, pp 837—890.
- A Review of Cardinal Fishes of Japan—id. vol. XXIII, pp 891—913.
- A Review of Gobioid Fishes of Japan, with Descriptions of Twenty-One New Species—id. vol. XXIV, pp 33—132.
- Jordan, D. S. & Stark, E. C.—A Review of the Atherine Fishes of Japan—id. vol. XXIV, pp 198—206.

- Jordan, D. S. & Snyder, J. O.—A Review of the Gymnodont Fishes of Japan—id. vol. XXIV, pp 229—264.
- Jordan, D. S. & Fowler, H. W.—A Review of the Ophiod Fishes of Japan—id. vol. XXV, pp 734—766.
- A Review of the Berycoïd Fishes of Japan—id. vol. XXVI, pp 1—21.
- Jordan, D. S. & Starks, E. C.—A Review of the Hemibranchiate Fishes of Japan—id. vol. XXVI.—pp 57—73.
- Jordan, D. S. & Fowler, H. W.—A Review of the Trigger-Fishes, File-Fishes, and Trunk-Fishes of Japan—id. vol. XXV. pp 251—286.
- Jordan, D. S. & Sindo, M.—A Review of the Pediculate Fishes of Japan—id. vol. XXIV. pp 361—381.
- Jordan, D. S. & Snyder, J. O.—A Review of the Blennoid Fishes of Japan—id. vol. XXV, pp 441—504.
- Jordan, D. S. & Evermann, B. W.—Notes on Collection of Fishes From the Island of Formosa—id. vol. XXV, pp 315—368.

- Jordan, D. S. & Fowler, H. W.—A Review of Cobitidae of the Rivers of Japan—id. vol. XXVI. pp 765—774.
- A Review of the Dragonets (Callionymidae) and Related Fishes of the Waters of Japan—id. vol XXV, pp 930—959.
- A Review of the Elasmobranchiate Fishes of Japan—id. vol. XXVI, pp 593—674.
- Jordan, D. S. & Snyder, J. O.—A Preliminary Check List of the Fishes of Japan—日本動物學彙報第三卷第二及第三冊
- Jordan, D. S.—The Salmon and Trout of Japan—日本動物學彙報第四卷第二冊
- The Fish Fauna of Japan, with Observations on the Geographical Distribution of Fishes—Science, vol. XIV, No. 354, pp 545—567, Oct. 11, 1901.
- Richardson, Sir J.—Reports on the Ichthyology of the Seas of China and Japan.
- Gill, Th.—Notes on a collection of Japanese Fish.—Proc. Acad. Nat. Sc. Philad 1860.
- Jordan, D. S. & Snyder, J. O.—A List of Fishes Collected in Japan By Keinosuke Okaki, and By the U. S. Steamer Albatross. With Fourteen New Species.—Proc. of the U.

日 本 水 産 學 會 誌

S. National Museum, vol. XXIII, pp 335—380, 1900.

- 北原多作氏 本邦産さげ族
- 北原多作氏 本邦産さげ族
- 安戸一郎氏 日本沿海ノ板鰓類
- 和田健次郎氏 北海道水産豫察調査報告
- 和野澤俊三氏 北海道水産豫察調査報告
- 岡田信利氏 日本動物總目錄
- 岸上鎌吉氏 日本さげト歐米さげ
- 岸上鎌吉氏 之ニ以漁業調査
- 波江元吉氏 教育博物館列品目錄(動物ノ部)
- 松原新之助氏 北越河魚調査報告
- 藤田經信氏 日本水産動物學
- 大瀧圭之介氏 日本産ひらめ族

日 本 水 産 學 會 誌

魚類命名者ノ略字解

魚ノ學名ハ屬種二名ヲ連記シ其後ニ命名者ノ名ヲ畧記スル事一般ノ習慣ナリ故ニ命名者ノ名ヲ知ラントスレバ此畧字ヲ解明セザル可カラズ左ニ掲グルモノハ乃チ專ラ此便ニ供スルモノナリ

- Bl, Blkr.....Bleeker.
- C.....Cuvier.
- D, Döderl.....Döderlein.
- G, Gthr.....Günther.
- H, Hilgend.....Hilgendorf.
- L.....Linnaeus.
- La, Lacép.....Lacépède.
- R, Rich.....Richardson.
- S, Schleg.....Schlegel.
- Sc, Schn.....Schneider.

- St, Steind.....Steindachner.
- T, Temm.....Temminck.
- V.....Valenciennes.

附 録

魚類ヲ研究シ又之カ種別ヲ考査セントスルニハ研究材料即チ標本ヲ備フルヲ要ス而シテ標本ヲ備フルニ當リ之ヲ採集シ又之ヲ保存スルニ其方法佳良ナラザレバ折角苦慮シタルモノモ徒ニ無効ニ歸スルコト鮮ナカラズ因テ茲ニ標本調製法ノ概要ヲ記シ以テ研究者ノ便ニ供フ

一 要用器具

- 普通必用ナル器具ハ解剖用顯微鏡。尖端銳尖ナル小刀或ハ解剖小刀。解剖鉗。コンムパス。鑷子。尺。懷中廓大鏡。バネ附廓大鏡。解剖皿等是ナリ
- (一) 解剖用顯微鏡ハ獨國ツァイス社製造ノモノヲ宜シトス
 - (二) 小刀ハ魚類ヲ酒精ニ浸ストキ腹部ニ裂孔ヲ作り或ハ内部ヲ檢スルトキ腹部ヲ開裂スルニ用フルモノニシテ大小二個アレバ便利ナリトス
 - (三) コンムパスハ魚ノ頭長、軀高、眼徑、吻長等體長トノ比例ヲ計ルニ用フ
 - (四) 尺ハ魚ノ大サヲ計ルニ用フ、メートル卷尺最モ便利ナリ

(五) 懐中廓大鏡ハ鏢ノ形状等ヲ檢スルニ用フ又、バネ附廓大鏡ハ時計師ノ使用スルモノニシテ細ク卷キタル「バネ」ヲ頭ニ卷キ附ケ細鱗ノ列、側線等ヲ數フルニ用フ

(六) 解剖皿ハ普通長サ三尺幅壹尺深一寸位ノ長方形ニシテ亞鉛製ヲ良トス勿論大ナル魚ヲ檢シ或ハ解剖ヲ爲ニハ更ニ大ナルモノヲ備フルヲ便トス

二 藥 品

一 精 酒

二 「フォルマリン」

(一) 酒精ノ強弱ヲ稱シテ何々度ノ酒精或ハ何々% (Percent)ノ酒精ト云フ此種々ノ度ハ百分量中ニ含有スル純酒精ノ量ニシテ藥舖ニテハ何々度ト稱シテ販賣ス其ノ度ト%トヲ對照スレバ左ノ如シ

四十	五十	六十	七十	八十	九十	度
40	50	60	70	80	90	%

酒精ハ能ク水分ヲ吸收スル性ヲ有ス故ニ市中販賣品ハ純酒精ト雖モ多少水ヲ含ミテ普通九十五、六%位ナリ此酒精ヨリ低度ノモノヲ製セントスル時ハ最強度ノ酒精ヲ九十五%即チ四十度ノモノト見倣シ之ヲ所要ノ強度ニ變更スヘシ又一定%ノ酒精ヲ低度ノモノニ變更セント欲スルハ之ニ若干量ノ蒸餾水ヲ加フベシ其簡便法ハ先ツ製セント欲スル酒精ノ%數ト同數立方センチメートル「ト」爲スヘシ即チ九十五%酒精ヨリ七十五%ノ低度ノモノニ變更セント欲セバ九十五%ノ七十五立方センチメートルヲ取り之ニ蒸餾水二十立方センチメートルヲ加フベシ然レバ七十五%ノ酒精九十五立方センチメートルヲ得ベシ

又々最モ簡便法ハリヒテル、トラートレー、カーヂエー三氏對照アルコールメートルヲ使用スルニアリ先ツ使用セント欲スル酒精ノ一定%量不明ナル場合ニ於テハ酒精ヲ「メートル」ガラス「其他」之ニ準スル器具ニ注ギ靜カニ此「メートル」ヲ入ルレバ「メートル」ノ沈下シタル分界線即チ其酒精ノ強弱%量ナリ其酒精ヨリ低度ノモノニ變更セント欲セバ其欲スル%量マテ蒸餾水ヲ注加スベ

シ

(二) フォマリシハ普通水溶液ニシテ採集携帶用ニ最モ便利ナリ普通「ボン」瓶入ニテ販賣ス其使用度ハ大概三%ヲ以テ適度トス即チ水一斗ニ「ボン」ノ割合ニシテ標本ノ皮膚柔軟ナルモノハ四%乃至五%ノ度合ヲ以テ良トス。海産ノ標本ヲ浸スニハ此藥劑ヲ海水ニ混入スルヲ佳トス

標本採集ニ就キ注意

標本ハ成ルヘク各種トモ大、中、小形ノモノ數尾ヅ、ヲ採集スヘシ殊ニ淡水産ノ如キモノハ多數アルヲ良トス之レ即チ種類ヲ査定シ研究スルニ際シ往々骨格ヲ檢シ或ハ解體シテ内臓ヲ検査スル必要アリ或ハ幼魚ト成魚又其雌雄ニ於ケル外貌ノ異同ヲ比較スル必要アレバナリ

標本採集ハ決シテ時間ト場所トヲ擇ブコトナク多少機會アレハ必ス逸スヘカラズ其多數ノ如キハ憂フルニ足ラズ然レドモ其採集地ニ於テ普通ノモノト推シ空シク委棄スルガ如キハ屢々噬臍ノ悔ヲ招クコトアリ

標本ニハ必ス採集シタル年月日産地及ヒ其産地ニ就キ種々ノ情况等ヲ記スルヲ忘ルヘカラズ又其標本ヲ保存劑ニ投入スル前ニ於テ魚ノ新鮮ナル彩色ヲ明瞭ニ

吳

備忘スルハ最モ大切ナリ

採集シタル標本ノ處分法

抑モ標本ハ陳列品ト研究材料トヲ問ハズ其自然ノ體形ヲ變セザルヲ要ス蓋シ陳列標本トシテハ動物ヲ保存劑中ニ收メテ其體形ニ萎縮彎曲ヲ生セス自然ノ容姿ヲ示スヲ本旨トス而シテ研究材料トシテモ亦標本ノ彎曲シテ其皮膚ニ甚ダシク皺襞ヲ生シ或ハ其鱗剝離シ或ハ鱗部破損スルニ於テハ考査上明確ヲ欠キ甚ダ不完全タルヲ免レズ故ニ左ニ標本ヲ採集シ之ヲ完全ニ保存スル要項ヲ記スベシ

(一) 採集シタル標本ハ淡水産、鹹水産ヲ問ハズ暫ク少量ノ水ヲ盛リタル器ニ收メテ自然ニ死セシメ決シテ直ニ保存劑ニ投シ或ハ大氣ニ曝シテ殺スヘカラス是レ煩悶シテ死スレハ體ハ概ネ皆彎曲シ鰓蓋モ亦往々擴張シテ不完全ナル標本トナリ検査上ニ不便甚カラズ

(二) 雜魚類及び其他小魚ヲ除テハ保存劑ニ投スル前必ス魚ノ頭部ヲ研究者ノ左ニ向ケ其復部右側ノ下緣肛門ノ前方ニ於テ小刀ノ尖端ニテ先ツ裂孔ヲ穿チ更ニ缺ヲ用キテ是ヨリ水平ニ腹部ヲ裂開スヘシ是レ乃チ保存劑ヲ好ク組織中ニ浸濕セシメン爲メナリ此時ノ内臓ハ除クニ及ハズト雖モ腸胃中ニ液體

七

ヲ充スカ或ハ菜食性ノモノニアリテハ之ヲ除クヲ佳トス
かつを類ノ如ク其體紡錘形ニシテ體肉肥滿ノモノニ於テハ保存劑容易ニ全
組織内ニ浸徹セザルニ依リ標本ハ永ク貯藏ニ適セズ故ニ腐敗ヲ防ガンガ爲
メニ體ノ背部即チ背鰭ニ併行シテ二三ノ小開裂ヲナシテ藥劑ノ浸入ヲ助ク
ヘシ

(三) 採集中ニハ採集シタル魚ヲ強度ノ酒精ニ投入スヘカラズ先ツ之ヲ六十%乃
至六十五%ノ酒精ニ投入シ標本漸々増加シテ此酒精モ標本ヨリ多分ノ水分
ヲ吸收シ極メテ弱度ノモノトナル時ハ追次強度ノ酒精ヲ注加スベシ總テ酒
精ハ採集中ト雖モ弱度ニ過ギサル様ニ注意スベシ殊ニ盛夏ニ於テ然リトナ
ス

(四) 新シキ標本ハ其保存劑中ニ夥シク有機物ヲ沈澱ス而シテ之ニ接シタル標本
ハ容易ニ腐敗ス故ニ旅行中ナレバ投宿スルヤ先ツ採集器中ノ標本ヲ別器ニ
移シ沈澱物ヲ投棄シテ強度ノ酒精ヲ注加シ更ニ復々標本ヲ入レ歸宅後貯藏
處分ヲ行フマデ標本ハ時々器中ノ上層ニアルモノト下層ニアルモノトノ位
置ヲ變換シ又酒精中水分ヲ夥シク吸收セルヤ否ヤニ注意スベシ否ラザレバ

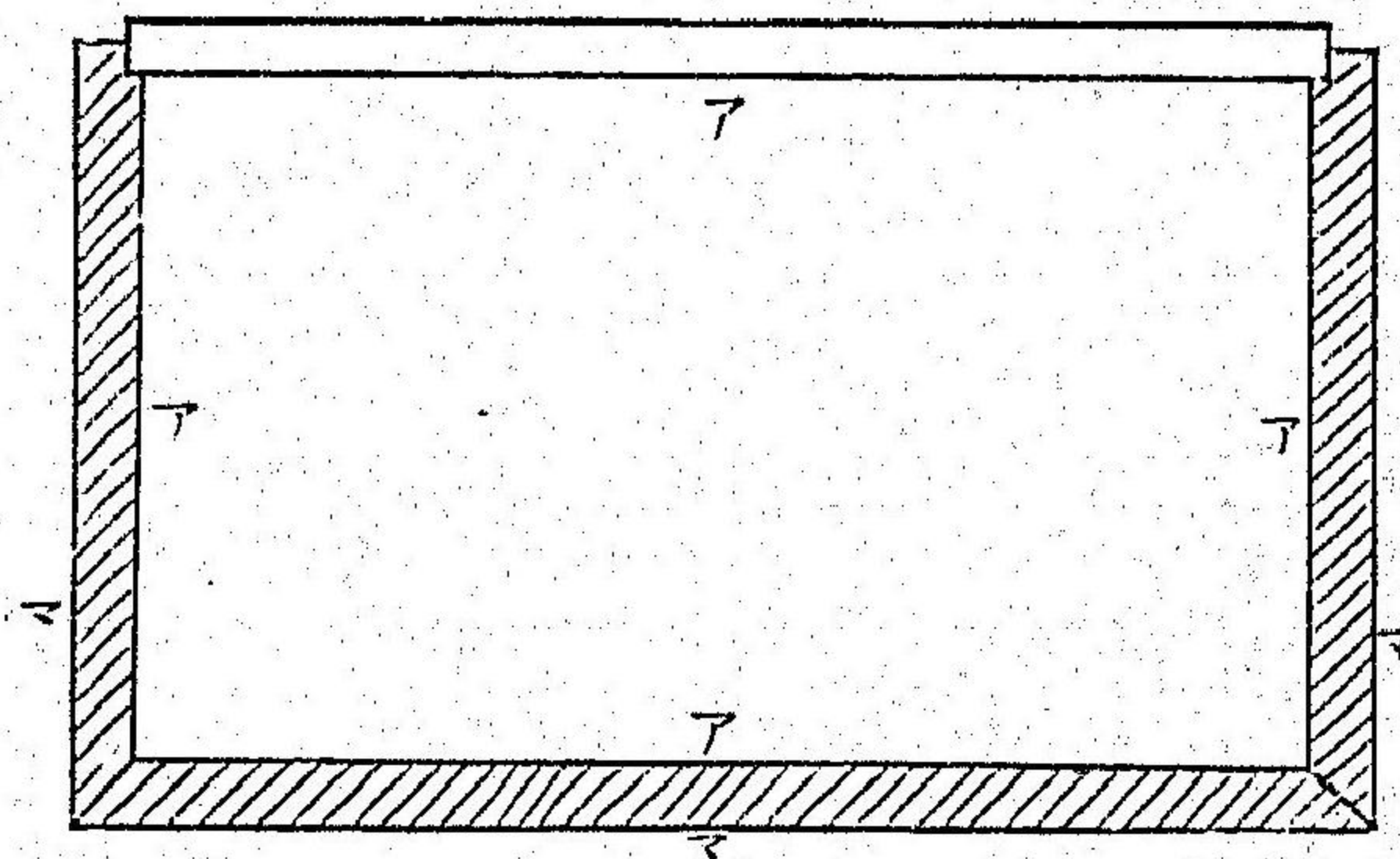
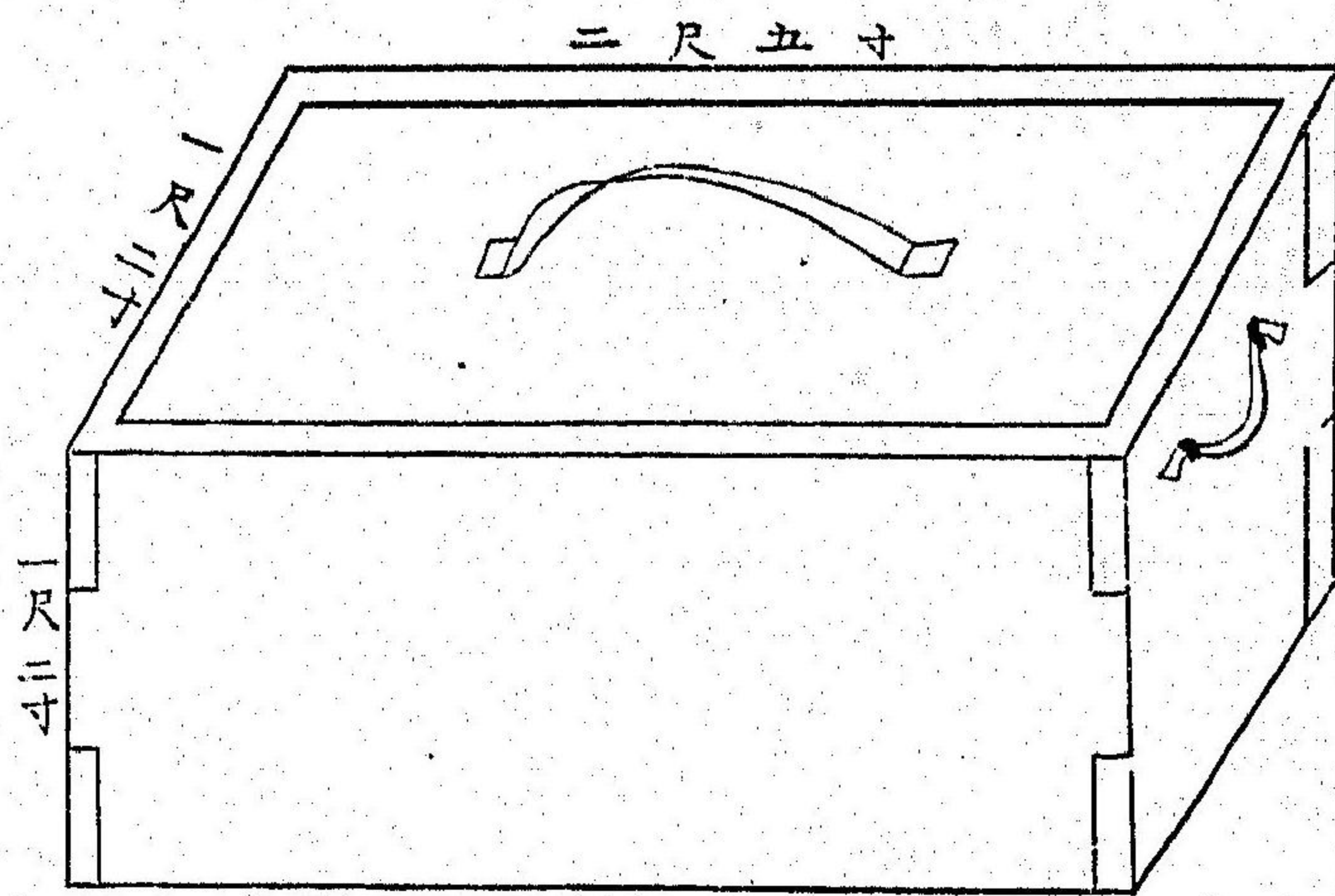
珍寶ヲ失フノ悔アルコトアルベシ

(五) フォマリソ保存劑ハ四%位ノモノヲ用フレバ第四項ノ手數ナク且ツ其少量
ヲ携帯スレバ足リテ採集ニハ甚ダ便利ナリ

(六) 試験所等ニ於テ新ニ標本ヲ製スルニモ先ツ第四項ノ手續ヲナシ二十四時間
位ノ後又六十五%乃至七十%ノ酒精ニ移シ二日間位ヲ經テ有機物ノ沈澱ヲ
見ザルニ至リ七十五%ノ酒精ニ貯藏保存スヘシ然シ其後ト雖モ毎年一回其
保存酒精ノ度ヲ檢シ常ニ同一%量ニアラシムヘシ

(七) こひぼらたいノ如キ硬骨類ハ最初若シ強度ノ酒精ニ投ズレバ其皮膚速ニ收
縮シ覆瓦狀ヲナス鱗相密着シ保存劑ノ其組織内ニ浸徹スルヲ妨ケ内部ヨリ
ハ腐敗ヲ生ズ故ニ此類ノモノハ殊ニ注意シテ最初先ツ五十%位ノ弱度ナル
酒精中ニ浸シ凡ソ二十四時間ノ後六十%乃至六十五%ノ酒精ニ移シ又凡ソ
二十四時間ヲ經テ其酒精ニ吸收セル水分ニ隨テ強度ノ酒精ヲ注加シ同一%
量ヲ保タシメ斯クスルコト三四回ニシテ後七十五%ニ移シ貯藏保存スベシ
又時々其酒精%量ノ高低ヲ檢シ又若シ有機物ノ沈澱多量ナレハ之ヲ除棄ス
ヘシ

圖 八 第



四

- (八) フォマリン液ニ貯藏保存セル標本ニ於テモ有機物ノ沈澱生ズレハ之レヲ變更スヘシ
- (九) さめ類及ヒ脂肪多量ナル種類ヲ「フォマリン」液ニ貯藏セル場合ニハ其五%乃至六%ニ保存スヘシ
- (十) フォマリン液ニ貯藏保存セルモノヲ更ニ酒精ニ保存セントスルトキモ猶ホ新鮮ナルモノヲ酒精ニ保存スル手續ニ依ルヘシ
- (十一) 一尺内外或ハ以上ノ魚類ヨリ精良ナル標本ヲ製セントスルニハ圖ノ如キ亞鉛張りノ函ヲ用キテ貯藏スルヲ便利トス然ラザレバ尾部屈曲シ背腹ハ壓迫シ又ハ諸鱗ハ打レテ考查ニ明確ヲ缺ク「抄」ナカラズ斯ノ如キ函ハ又標本保存ニモ便ナリ五、六寸乃至八、九寸ノ標本ヲ硝子瓶中ニ貯藏スルトキハ其體ノ十分硬化スル迄其頭部ヲ下ニスヘシ然ラザレバ尾緒ハ屈折スベシ簡單ニシテ便利ナル貯藏函ヲ製スルニハ其外函ヲ松板マ「ア」ヲ以テ製シ之ヲ亞鉛版(ア)ニテ張ルベシ則チ亞鉛製ノ函ヲ松板ヲ以テ覆ヒタルカ如クス蓋ハ保存劑ノ蒸發ヲ防クタメ密着ナル押蓋ヲ以テ最良トナス
- (十二) 酒精或ハ「フォマリン」液貯藏標本ヲ永ク保存スルカ標本交換等ノ爲メ遞送ス

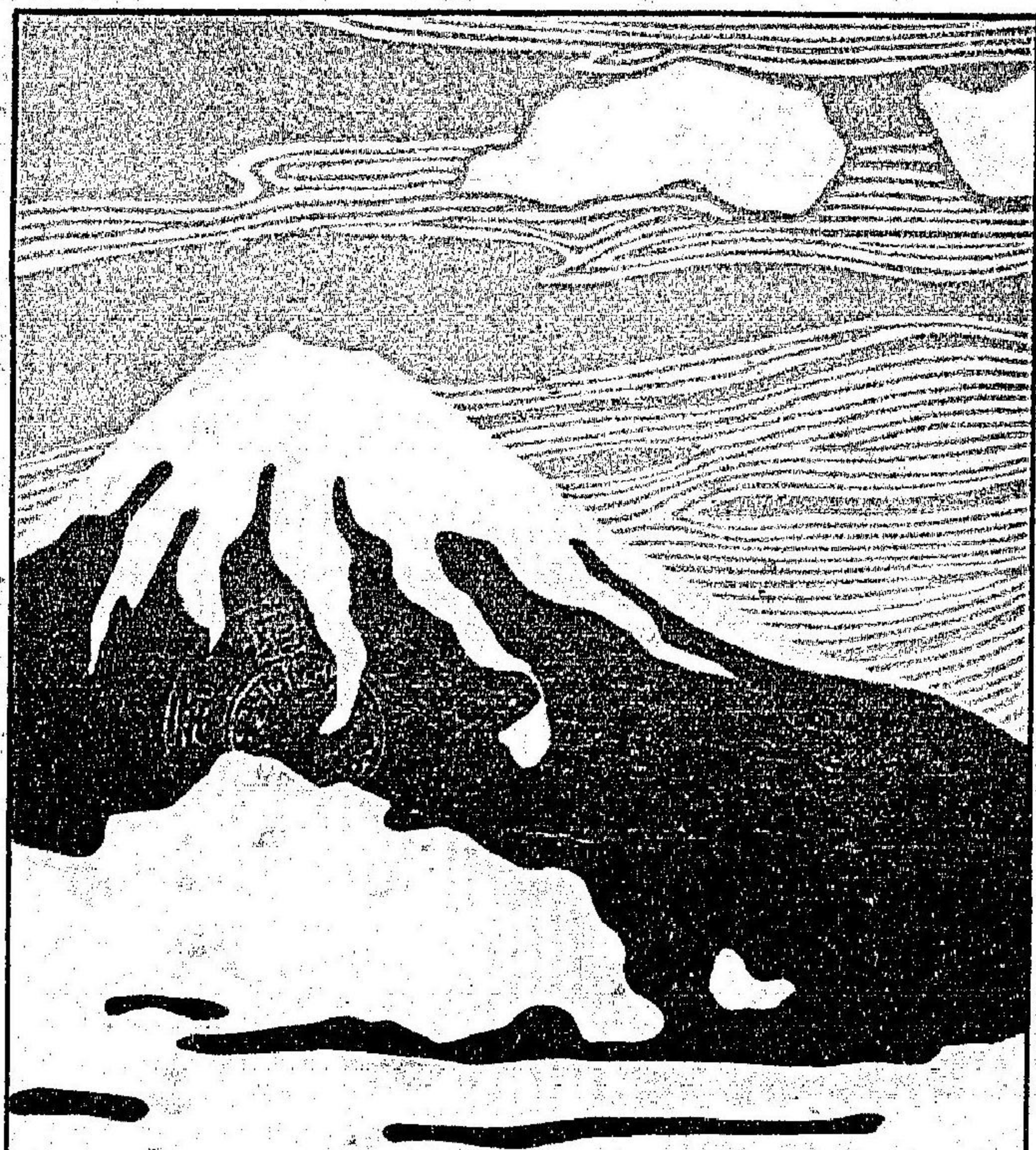
記入番號	種 類		符札番號	採集地	採年月日	備 考
	和名	學 名				

ル場合ニハ毎尾寒冷紗ヲ以テ包藏シ以テ鱗ノ潰損鱗ノ剝離ヲ防クベシ
 (三) 試驗所等ニ於テ標本ヲ貯藏保存スルニハ標本臺帳ヲ製シ之ニ番號ヲ登載シ
 又各標本ニハ鉛製小札ヲ其下顎骨ニ附着シ置キ之ニ臺帳登錄ノ番號ヲ記シ
 永久保存ニ資スヘシ(臺帳様式參照)
 (四) 酒精貯藏「フオマリ」貯藏等孰レニ限ラス標本ヲ陳列セバ其架臺ニハ青色或
 綠色等ノ布幕ヲ垂レ光線ヲ遮ルベシ然ラサレハ酒精ヲ蒸發セシメ或ハ之ヲ
 變色セシメ又「フオマリ」貯藏標本ハ其彩色ヲ褪化セシム

魚類標本臺帳様式

日 本 魚 類 查 定 法

日 本 魚 類 查 定 法 終



THE POLITICAL IDEAS OF MODERN JAPAN.

By K. K. KAWAKAMI, M. A.

8vo. PP, 208. cloth Yen 1.20, Postage 10 sen.

A WELL-WRITTEN HISTORY of the development of political ideas of modern Japan. Argumentative and critical, the treatise is both scholarly and original, and is absorbingly interesting to the students of modern Japan.

Publisher: THE SHOKWABŪ, Nihonbashi-ku, Tokyo.



魚學語彙

魚 學 語 彙

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Abdomen	Bauch	Abdomen	腹
Abdominal	Bauchständig	Abdominal	腹位
Abdominal fin	Bauchflosse	Nageoire abdominate	腹鰭ノ胸鰭ヲ去ル遠キモノ ヲ云フ
Abortive	Unzeitig	Abortif	殘存スル。不完全ナル
Actinosts (Branchial ossicle)	Actinost	Actinost	胸鰭ノ基部ニアル一聯ノ小 骨
Acuminate	Scharf	Acminé	尖リタル(漸々細クナリ尖 端ニ終ル)
Acute	Spitzig	Aigu	鋭尖
Adipose fin	Fettflosse	Nageoire adipeux	脂鰭(ちびれ)。さげ、なま づ等ニアリ
Air bladder	Swimmlase	Vessie nataoire	鰾
Alisphenoid	Alisphenoid	Grande aile du Sphénoide	側楔狀骨
Amphicoelous	Amphicèle	Amphi	兩凹(脊椎體ノ前後兩面ノ 凹メルヲ云フ)
Anadromous	—	Anadrome	遡河(鹹水魚ノ産卵期ニ河 ヲ遡ルヲ云フ)
Anal	After	Anal	臀部ノ
Anal fin	After fosse	Nageoire anale	臀鰭
Anchylosed	Vereinigt		癒管シタル
Angular	Angulare	Angulaire	角骨(下顎骨ノ一部)
Ante-orbital (Snout)	Anteorbital	Anteorbitale	眼前部(吻)
Antorse	—	—	前向シタル
Anus	After	Anus	肛門
Arterial bulb	Bulbus arteriosus	Bulbus arteriosus	心臓球
Articular (bone)	Articulaire	Articulaire	節骨(下顎骨ノ一部)
Articulate	Gegliedert	Articuler	關節シタル
Atrophy	Atrophie	Atrophie	發達不完全ナル
Attenuate	Verdünnen	Atténué	延長シタル
Auricle	Vorkammer	Oreillete	心房

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Barbel	Bärfaden	Barbillon	鬚(こいナドニアリ)
Basal	—	—	基部ノ
Basibranchial	Basibranchiale	Basibranchial	下鰓骨(前中後ノ三骨アリ テ左右鰓弓ト相接ス)
Basihyal	Basihyale	Basihyalique	下舌骨
Basioccipital	Basioccipitale	Basioccipital	下後頭骨
Basisphenoid	Basisphenoid	Sphénoïde antérieur	下楔状骨
Bicolor	Deppelfarbig	Bicouleurs	二色ノ
Bicuspid	Zweieckig	—	二尖頭ノ
Bony stay (Suborbital stay)	Stützknochen	Os suborbitaire	門状骨(前鰓蓋骨ト眼下環 骨トテ接続ス)
Brackish	Brack	Saumâtre	半鹹水ノ
Branchial ossicle (Actinost)	Actinost	Actinost	胸鰭ノ基部ニアル一聯ノ小 骨
Branchiae	Kiemen	Branchie	鰓
Branchial	Kiemen	Branchial	鰓部ノ
Branchial arch	Kiemenbogen	Arc branchial	鰓弓
Branchihyal	Branchihyale	Branchihyalique	鰓基骨(鰓弓ノ基部ニアル 数片ノ小骨)
Branchiostegal	Kiemenhautstrahl	Rayon branchios- tège	鰓條ノ
Branchiostegal membrane	Kiemenhaut	Membrane bran- chiostège	鰓條膜
Buccal	—	Buccal	口部ノ
Caducous	—	—	脱落スル
Coecal	Blindsackförmig	—	盲囊状(胃ノ形状)
Coecum	Pfortneranhänge	Coecum	幽門垂
Canine	Fangzähne	Dent canine	犬齒
Cardia	Cardia	Cardiaque	胃門(胃ノ食道ニ接スル口)
Cardiform	Hechelförmig	Dents en carde	梳状齒(錐形ノ鋭齒ニシテ 内向粗生スルモノ)
Carinate	Längskiel	Cariné	中央ニ縱走スル龍骨状突起
Carotid	Carotid	Carotide	上向大動脈
Catadromous	—	Catadrome	降河(淡水魚ニシテ産卵ノ 時河ヲ降ルモノ)
Caudal	Schwanz	Caudal	尾部ノ
Caudal fin	Schwanzflosse	Nageoire caudale	尾鰭

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Caudal peduncle	Schwanzstiel	Pedoncle caudale	尾柄
Cavernous	Voll Höhlen	Caverneux	空虚アル(全ク空虚ナルカ 又ハ粘液ヲ以テ充サル、 チ云フ)
Centrum	Wirbelkörper	Centrum	椎體
Cephalic fin	Kop flosse	Nageoire céphalique	頭上鰭(板鰓類ノ胸鰭ヨリ 分離シタル部分チ云フ)
Ceratobranchial	Keratobranchiale	Ceratobranchial	中鰓骨(鰓弓チナス三個ノ 骨中長クシテ中央ニアル モノチ云フ)
Ceratohyal	Keratohyale	Ceratohyalique	中舌骨
Chiasma	Chiasma	Chiasma	眼神經交叉部
Chin	Kinn	Menton	腭(左右下顎骨ノ間隔チ云 フ)
Ciliated	Cilientragend	Cilié	絨毛アル
Cirrus	Cilien	Cirrhe	絨毛
Clasper	—	—	交接器(板鰓類ノ腹鰭ノ後 方ニアリ)
Clavicle	Schlüsselbein	Clavicle	鎖骨(肩帶ニアリ)
Cleft	Spalte	Fente	開裂(口ノ)
Coalesce	Zusammenfließen	S'unir	愈合スル
Compressed	Zusammenge- drückt	Comprimé	側扁
Confluent	Zusammen- fließend	Confluent	接合スル
Coracoid (Hypercoracoid)	Coracoid	Cracoidien	烏喙骨
Corselet	Kragen	Corselet	胸甲
Cranial	Cranial	Crâne	頭蓋ノ
Cranial bone	Hirnschädel	Os crâne	頭蓋骨
Ctenoid	Ctenoid (Kammshupp)	Ctenoïde	櫛齒鱗
Cycloid	Cykloid (kundshupp)	Cycloïde	圓鱗
Deciduous	Abfallend	Décidu	脱落スル(時々期シテ)
Decurved	—	—	下方ニ屈曲スル
Dentary	Dentale	Dentaire	齒骨(下顎骨ノ一部)
Dentate	Gezähnt	Denté	鋸齒状チナス
Denticle	Zahnschnitt	Denticules	小齒

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Depressed	Flachgedrückt	Déprimer	扁平ナル
Depth	Hoch	Hauteur	高サ(魚ノ體高)
Dermal	Dermoidal	—	皮膚ノ
Diaphonous	—	Diaphane	半透明
Disk	Scheibe	Disque	盤狀
Distal	—	—	附着點ヨリ遠距離
Dorsal	Rücken	Dorsal	背部ノ
Dorsal fin	Rückenflosse	Nageoire dorsale	背鰭
Ectoethmoid	Ectoethmoid	Ectoethmoid	外蝴蝶骨
Elongate	Longgestreckt	Allonger	延長スル
Emerginate	—	Fenduer	邊緣少シク又狀ヲナス, 分岐スル
Endoskeleton	Endoskelet	Squelette interieur	内骨格
Enteron	Enteron	Enteron	消化管
Entopterygoid	Entopterygoid	Pterygoidien interne	内翼狀骨
Epibranchial	Epibranchiale	Epibranchiale	鰓上骨
Epihyal	Epihyale	Epihyalique	上舌骨
Epiotic	Epioticum	Epioticum	上耳骨
Epipleural	Epipleural	Epipleurale	肉間刺條(腹部肋骨ニ水平狀ニ附着スル刺狀骨片ヲ云フ)
Erectile	Erhebend	Érectile	勃起スベキ
Ethmoid	Ethmoid	Ethmoid	蝴蝶骨
Exerted	—	—	突出スル
Exoccipital	Exoccipitale	Occipital lateral	外後頭骨
Exoskeleton	Exoskelet	Squelette exterieur	外骨格, 鱗, 鱗甲
Facial	Gesichtlich	Facial	顔面ノ
Facial bone	Gesichtschädel	Os faciale	顔面骨
Falcate	—	Arqué	鎌狀
Falciform	Giehelfarung	Falciform	鎌狀形
Fauna	Fauna	Faune	地方動物界
Femoral	Hüftbein	Fémoral	腿骨
Filament	Faser	Filament	糸狀
Filiform	Fadenförmig	Filiforme	糸狀體
Finlet	Flötzen	Fasse nageoire	副鰭

英 語	獨 語	佛 語	和 語
First dorsal	Erste Rückeflosse	Premier dorsale	前背鰭
Fontanel	Fontanell	Fontanell	額部
Forked	Gespalt	Bifurqué	叉狀
Frontal bone	Frontale	Frontal	前額骨
Furcate	Sichelförmig	Fourchue	鎌形
Fusiform	Spindelförmig	Fusiform	紡錘形
Ganoid	Ganoid (Smelz)	Ganoid	齒質鱗
Gape	Mundspalte	Baillement	口裂
Gill	Kiemen	Branchie	鰓
Gill-arch	Kiemenbogen	Arc branchial	鰓弓
Gill-cavity	Kiemenhöhle	Cavité branchial	鰓腔
Gill-opening	Kiemenspalt	Ouies	鰓孔
Gill-raker	Kiemenreuse	Dent aiguillon	鰓耙
Gill-cover(Opercle)	Kiemendeckel	Opercle	鰓蓋
Glabrons	Glatt	Glabre	圓滑
Glossohyal	Glosshyale	Os linguol	眞舌骨
Graduated	Gradicut	Graduer	鰭條ノ漸々後方ニ高キコト
Gular	—	—	頸部
Haemal arch	Bauchbogen	Arcade haemal	血管弓
Haemal spine	{Bauchstrahl {Unterer Doru- fortsatz	Apophyse haemal	血管棘
Haemal canal	Hämalkanal	Canal haemal	血管溝
Haemopophyses	Hämopophyse	Haemopophyse	血管棘狀突起
Height	Höhe	Hauteur	垂徑。高サ
Heterocercal	Heterocerk	—	不正尾
High	{Oberständig, {Hoch	Haut	高シ(背部ニ接近シテ存在スルモノ)又鰭條ノ長キコト
Homocercal	Homocerk	—	正尾
Humerus	Schulterbein	Humérus	上膊
Hyoid	Hyoid	Hyoide	舌骨
Hyoid arch	Hyoidbogen	Arcade hyoïde	舌弓
Hyomandibular (Eptympanic)	Hyomandibulare	Hyomandibulaire	舌顎骨
Hypercoracoid (Scapula)	Hypercoracoid	Scapulaire	肩胛骨

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Hypoleural	Hypoleural	Hypoleural	尾椎ノ最後ノモノ
Hypobranchial	Hypobranchiate	Hypobranchial	下鰓骨
Hypohyal	Hypohyale	Hypohyalique	後舌骨
Imbricate	Uebereinander liegend	Imbriqué	覆瓦狀
Imperforate	Nichtdurchge- bohrt	Imperforé	穿孔セラレヌ。穿孔セラレ ヌ
Inarticulate	Inartikulirt	Inarticulé	關節セヌ
Inciser	Schneidenzahn	Incisive	門齒
Inferior pharyngeal	Unterea Schlund- knoschen	Pharyngian inférieure	下咽頭骨
Infraoral	Infraorbital	Sons	口下
Infraorbital	Unteraugen	Sousorbitaire	眼下
Infraorbital-ring	{Infraorbitalring Unteraugen- knochen	Sonsorbitaires	眼下環骨
Interhaemal spine	Untere Flossenträger		肉間棘
Interhyal	Interhyale	Interhyalique	舌間骨(舌顎骨ニ接ス)
Intermuscular (Epipleural)	Epipleural	Epipleurale	肉間助上骨
Internatural spine	Obere Flossenträger	Os interepineux	肉上背棘
Interspinous bone	—	—	肉間背棘及ビ肉間背棘
Intermaxillary (Premaxillary)	Zwischenkiefer	Intermaxillaire	前顎骨
Interopercle	Zwischendeckel	Interopercle	中鰓蓋骨
Interorbital	Interorbital	Interorbitaire	眼隔。眼間
Isocercal	Diphycerkie	Isocercal	等尾(たらノ如シ)
Isthmus	Isthmus	Isthme	咽峽
Jugular	Kehlständig	Jugulaire	咽位
Keeled	Gekielt	Cariné	龍骨狀突起
Labial fold	Lippenfalt	Pli labial	唇襞
Lacustrine	—	—	湖水生
Lamella	Blätterig	Lamella	襞
Larva	Larva	Larva	稚魚。幼仔
Lateral	Seiten	Latéral	側面(口ニアリテハ開裂ノ 深キコト)
Lateral line	Seitenlinie	Ligne laterale	側線

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Lateral process (Parapophyses)	Parapophyses	Parapophyses	前横突起
Laterally	Seitenweise	Latéralement	側面ニ
Lip	Kinnlade	Lèvre	唇
Low	Unterständig	Bas	低シ(腹部ニ近ク存在スル コト)又(鰓條ノ短キト)
Lunate	Halbmondförmig	En demilune	半月形
Mandible	Unterkiefer	Mandibule	下顎
Mastoid	Mastoid	Mastoidien	乳嘴狀突起
Maxillary (Maxilla)	Oberkiefer	Maxillaire supérieur	上顎骨
Mesethmoid (Ethmoid)	Mesethmoid	Mesethmoid	中蝴蝶骨
Mesopterygoid	Mesopterygoid	Mesoptérygoidien	中翼狀骨
Metapterygoid	Metapterygoid	Metapterygoidien	後翼狀骨
Molar	Molar, Mahlzähne	Grosse molaire	臼齒
Mouth cavity	Mundhöhle	Cavité	口腔
Muciferous	Schleimig?	Viscère	粘液質。有粘液(頭部ニ多 シ)
Myocomma	Myocomma	Myocomma	筋肉束
Nape	Nacken	Nuque	頸上部(後頭ノ後ニアリ)
Nare	Nasenöffnung	Narine	鼻孔
Nasal	Nasal	Nasal	鼻ノ
Nasal plate	Nasal	Plaque nasal	穿孔骨(鼻ノ)
Neural arch	Neuralbogen	Arcade	神經弓
Neural canal	Neuralkanal	Canal neural	神經溝
Neural process	Processus Trousversus	P. trauersus	神經橫突起
Neural spine	Oberer Dornfortsatz	Apophyse neural	神經棘
Nictating membrane	Nickhant	Membrane nictitant	瞬膜
Notochord	Chorda dorsalis	Chorda dorsalis	脊索
Nuchal	—	—	頸部ノ
Obsolete	Ungebräuchlich	Desuétude	不明ナル
Obtuse	Stumpf	Otus	鈍尖
Occipital	Occipital	Occipital	後頭部ノ
Occipital condyle	Condylus occipitalis	Condyle Occipitale	後頭頤

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Occiput	Hinterhaupt	Occiput	後頭
Ocellate	Geaugt	Ocellé	眼球狀點(邊緣ハ其色淡シ)
Oid	Oid	Oid	類ト云フ意義ヲ表ハス語
Opercular flap	—	—	鰓蓋膜縁
Operculum	Hauptdeckel	Operculaire	主鰓蓋骨
Opisthotic	Opisthotic	—	耳後骨
Opisthocœlum	Opisthocœle	—	後凸面(椎體ノ)
Orbicular	Kreisförmig	Orbulaire	圓形ニ近キ
Orbit	Augenhohle	Orbite	眼窩
Orbitosphenoid	Orbitosphenoid	Aile orbitaire	眼楔狀骨
Osseous	Knöchern	Osseux	骨質ノ
Ossicular antilus	—	—	内耳骨
Osteology	Osteologie	Osteologie	骨學
Oviparous	Oviparous	Ovipare	卵生
Ovoviviparous	Ovovivipareus	Ovovivipare	熟卵生
Ovum	Ovum	Ovum	卵
Palate	Caumen	Palais	口蓋
Palatine	Gaumbein	Palatine	口蓋骨
Palustrine	—	—	沼生
Papilla	Papille	Papilla	乳嘴
Papillose	Warzeuförmig	Papillaire	乳嘴狀ヲナシタル
Parapophyses	Parapophyse	—	前横突起(腹椎ノ)
Parasphenoid	Parasphenoid	Parasphenoid	前楔狀骨
Parietal	Parietale	Pariétal	顛頂骨
Paroccipital	Paroccipitale	Paroccipital	前後頭骨
Parotic process	—	Occipital externe	後側突起(頭骨ニアリ翼耳骨及ビ後耳骨ヨリナル)
Pectinate	Kammförmig	—	櫛齒
Pectoral	Brust	Pectoral	胸部ノ
Pectoral fin	Brust flosse	Nageoir pectorale	胸鰭
Peduncle (Caudal peduncle)	Schwanzstiel	Pedoncle	尾柄
Pelagic	Pelagische	Martime	海洋性ノ
Pelvic girdle	Beckengürtel	Ceinture pelvien	腰帶
Pelvis	Beckenknochen	Bassin	腰骨(腹鰭ノ關節スル骨)

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Perforate	Durchbohren	Perforer	穿孔スルヲ多孔ナル
Peritoneum	Bauchfell	Peritoine	腹膜
Pharyngeal bone	Schlundknochen	Os pharyngien	咽頭骨
Pharyngeal teeth	Schlundzähne	Dent pharyngien	咽頭齒
Pharyngo-branchial	Pharyngo-branchiale	Pharyngo-branchiale	咽頭鰓
Pharynx	Schlund	Pharynx	咽頭
Physoclistous	—	—	閉口鰓
Physostomous	Physostomi	Physostomi	喉鰓類
Pigment	Pigment	Pigment	色素
Pineal body	Zirbeldrüse	Corpspineal	松子體
Pit	Grube	Fosse	凹窪(さめ類ノ尾柄ニアリ)
Placoid	Placoid	Plocoid	柄鱗
Plicate	Furche	Plie	縱走皺襞
Pleurapophyses	Pleuropophyses	Pleuropophyses	神經狀橫突起
Plumbeus	—	Plomb	鉛白色
Post-clavicle	Postclaviculare	Post-clavicle	後鎖骨
Post-orbital	Postorbitale	Post-orbital	眼後部
Post-temporal	Posttemporale	Post-temporal	後顛頂骨
Praeoracoid	Procoracoid	Praeoracoid	前烏喙骨
Praeoracoid arch	Procoracoidbogen	Arcade praecoracoid	前烏喙弓
Prefronted	Prefrontale	Prefrontal	前額骨
Premaxillary (Intermaxillary)	Zwischenkiefer	Premaxillaire	前顎骨
Premolar	Prämolar	Petite molaire	前臼齒
Preocular	Preoculare	Preoculaire	眼前部
Preopercle	Vordeckel	Préopercule	前鰓蓋骨
Preorbital	Preorbitale	Preorbitaire	眼前部
Precoelious	Procœle	Precoelius	前凹面(椎體ノ)
Procurrent (fin)	—	—	前方ニ延張セル(背鰭ノ前端ニ云フ)
Prootic	Prooticum	Prooticum	耳前骨
Protractile	Vorgestrecten	Prolongé	延長スル(鰭ノ)
Proximal	—	Prochaine	附着點ニ接近シタル
Pseudobranchia	{Pseudobranchie {Nebenkiemen	Pseudobranchie	擬鰓(鰓蓋骨内面ニアリ)

英語	獨語	佛語	和語
Pterotic	Pteroticum	Pteroticum	翼耳骨
Pterygoid	Pterygoideum	Transverse	翼狀骨
Pubic bone (Pelvis)	Becken	Os pelvien	耻骨
Pulmonary	Lungen	Pulmonaire	肺部ノ
Punctate	—	—	斑點アル
Pyloric coecum	Pfortneranhänge	Pylorique	幽門垂
Pylorus	Pfort	Pylore	幽門(胃ノ)
Quadrat	Quadratum	Quadratum	方骨
Quadrat-jugale	Quadrat-jugale	Quadrats-jugale	方咽骨
Ray	Flossenstrahl	Rayon	鰭條
Recumbent	Lehnend	Conché	斜向シタル
Recurved	—	Recourber	上方ニ屈曲スル
Reticulate	Netzförmig	Reticulé	網狀紋
Retractile	Zurückziehen	Rétractile	退縮スル
Retorse	—	—	後方ニ反リタル
Rudimentary	Verkummelt	Rudimentaire	發育不全
Rugose	Runzelig	Rugueux	表面皺襞ヲ以テ粗糙トナリタルモノ
Sacrum	Kreuzbein	Sacré	腰椎
Scale	Schuppe	Écaille	鱗
Scapula	Scapulare	{ Scapulaire Omoplate	肩甲骨
Scapular arch	Scapularbogen	Arcade scapulaire	肩帶
Scute	Kielschuppe	Ecaille armée d'une epine	せんご。(あぢ等ニアリ) 稜鱗
Second dorsal	Zweite Rücken-flosse	Deuxième dorsale	後背鰭
Septum	Septum	Septum	隔膜
Serrate	Gesägt, gezähnt	Dentelé	鈍齒狀
Sessile	Stiellos	Sessisile	無柄
Setaceous	Porstig	Setacé	鬃毛多キ。粗キ
Setiform	Borstenförmig	Setiforme	剛毛狀
Shoulder-girdle	Schultergürtel	Ceinture aupaule	肩帶
Siphonal	Siphonale	Siphonaire	水管狀
Snout	Schnrauze	Museau	吻

英語	獨語	佛語	和語
Soft-dorsal	Strahlige Rücken-flosse	Dorsal mous	刺背鰭
Soft ray	Gliedstrahl	Rayon mous	刺
Sparoid	Sparoid	Sparoid	白狀
Spatulate	Spatelförmig	Spatulate	匙狀ナル
Sphenoid	Sphenoid	Frontal postérieur	楔狀骨
Sphenotic	Sphenoticum	Sphenoticum	楔耳骨
Spine	Stachel, Dorn	Épine	棘
Spinous	Stachelig	Épineaux	棘ヨリナル
Spinuos-dorsal	Stachelrücken-flosse	Nageoire dorsale spineux	棘背鰭
Spiracle	Spritzloch	Pore	排水孔
Stellate	Sternförmig	Stellaire	星狀ノ
Stomach	Magen	Estomac	胃
Striate	Gestreift	Strié	縞狀ノ
Stylohyal	Stylohyale	Stylo-hyalique	尖舌骨
Subcaudal	Unterschwanz	Subcaudale	尾下
Subopercle	{ Suboperculare Unterdeckel	Subopercle	後鰓蓋骨
Suborbital	Suborbitale	Suborbitaire	眼下
Suborbital stay (Bony stay)	Stützknochen	Os suborbitaire	凹狀骨(眼下ニアリ)
Subulate	Pfriemenförmig	Subulé	大針狀ノ
Superciliary	Obereranglieder	Souscilier	眉部ノ
Superior pharyngeal (Pharyngobranchial)	Obererschlund-knochen	Sonspharyngien	上咽頭
Supplemental maxillary	—	—	上顎副骨
Supra-clavicle	Supraclaviculare	Supra-clavicle	上鎖骨
Supra-ethmoid	Supraethmoid	Supra-ethmoid	上吻蝶骨
Supra-occipital	Supraoccipitale	Supra-occipital	上後頭骨
Supra-oral	Supraorale	Supra-orale	口上部
Supra-orbital	Supraorbitale	Sons-orbitaire	眼上部
Supra-scapular	Suprascapulare	Supra-scapulaire	上肩胛骨
Suspensorium	Suspensorium	Suspensorium	懸垂部
Symphysis	Symphyse	Symphyse	下顎骨縫合線

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Symplectic	Symplecticum	Symplectique	中鼓室骨
Synonym	Synonym	Synonym	異同語
Synonymy	Synonymie	Synonymie	同種異名
Temporal	Temporale	Temporal	颞颥
Terete	—	—	尖端圓筒形
Terminal	Endständig	Terminal	末端ニアル(口ニ用ユ)
Tessellate	Würfeln	Tessellé	小基盤狀
Thoracic	Brustständig	Thoracique	胸位(腹鰭ノ位置)
Transverse	Kreuzweise	Transverse	横斷
Tronchant	Schneidend	—	側扁シテ銳縁ヲ有スルモノ
Truncate	Verstümmeln	Tronque	截形
Tubercle	Knollen	Tubercule	結節
Turbinal	Turbinal	Turbinale	下甲介骨
Type (of genus)	Type (der Genus)	Type (de genus)	一屬ノ模範種類
Type (of species)	Type (der Species)	Type (de species)	一種類ヲ記述シタル元標本
Type locality	Typisch Localität	Lacalite typique	始メテ記述シタル標本ヲ採 集シタル地
Typical	Typisch	Typique	一屬ノ動物ニ殊特ノ構造
Ultimate	Endlich, schliesslich	Extrême	最終ノ。透カナル。距リタ ル
Unicolor	Einfärbig	Unicolore	單色ノ
Urohyal	Urohyale	Urohyalique	隔室骨
Vent	After	Anus	肛門
Ventral	Bauch	Ventral	腹部
Ventral fin	Bauchflosse	Nageoire ventrale	腹鰭
Ventral plate	Gesägte Kante	Denteleur	稜鰭(咽頭ヨリ肛門迄ニ連 ル鋸齒狀ヲナスモノ)
Ventricle	Kammer	Ventricule	心室
Versatile	Drehbar	Versatile	柔軟
Vertebra	Rückenwirbel	Vertèbre	脊椎
Vertical	Vertikal	Vertical	上下。垂直
Vertical fin	Vertikal flosse	Nageoire verticale	奇鰭(背、臀、尾)
Villiform	Dürstenformig	Dents { en duvets en velour	絨毛狀(齒列)
Viscous	Schleimig	Viscère	粘液質
Viviparous	Viviparen	Vivipare	胚生

英 語	獨 語	佛 語	和 語
Vomer	Pflugscharbein	Vomer	鋤骨
Zygopophyses	Zygopophyses	Zygopophyses	關節突起

明治三十七年三月十九日印刷
明治三十七年三月廿二日發行

日本魚類査定法與附
正價金四拾錢
(郵税金四錢)



著者 藤田經信
著作者 大瀧圭之介
發行者 東京市日本橋區大傳馬鹽町十一番地 芳野兵作
印刷者 同牛込區市谷加賀町二丁目十二番地 青木弘

發行所 東京市日本橋區大傳馬鹽町十一番地 裳華房
特約所 大阪市東區備後町四丁目 吉岡平助
特約所 尾張名古屋市本町三丁目 川瀬代助
印刷所 東京市京橋區西紺屋町二十六七番地 株式會社 秀英舍

肆書各捌賣

東京市日本橋區通三丁目
 東京市日本橋區通三丁目
 東京市神田區袋神保町
 東京市神田區袋神保町
 東京市京橋區南區馬町
 東京市赤坂區青山南町
 靜岡市丸服町
 近江長濱町大手橋東
 京都市幸町通二條南入
 京都市河原町通二條南
 神戶市元町五丁目
 廣島市鹽屋町
 松江市京店
 山口縣山口町中市
 大分縣大分竹町
 福岡市博多中島町
 久留米市米屋町
 佐賀市白山町
 熊本市新二丁目
 鹿兒島市仲町
 高松市丸龜町
 松山市港町

林 平次郎
 九 善書店
 東 京堂
 中 西屋
 目 黑甚七
 山 陽堂
 吉 見金關閣
 文 泉堂
 若 林書店
 大 黑屋書舖
 吉 岡支店
 積 善館支店
 有 田傳助
 小 原松千代
 甲 斐治平
 博 文堂書房
 菊 竹金文堂
 河 內壯助
 長 崎次郎
 吉 田幸兵衛
 龜 友堂
 土 肥與平

長野市大門町
 金澤市片町
 富山市東四十物町
 高岡市守山町
 福井市佐佳枝仲町
 越後水原町
 越後新發田上町
 越後高田町上吳服
 札幌區南一條西三丁目
 札幌區南一條西三丁目
 札幌區南二條西一丁目
 弘前市土手町
 青森市米町
 秋田市茶町菊之町
 羽前鶴岡十日町
 仙臺市大町五丁目
 仙臺市南材木町
 岩代福島榮町
 宇都宮市殿砲町
 水戸市上市泉町
 千葉縣千葉本町
 千葉縣茂原町

西澤喜太郎
 宇都宮書店
 中田書店
 學海書堂
 品川書店
 萬松堂本店
 萬松堂支店
 高橋書店
 富貴書堂
 進振書堂
 札幌興農園
 今泉支店
 今泉支店
 成見清兵衛
 日向源吉
 藤崎浩哉
 佐政書店
 眞柄至誠堂
 內田濱吉
 川又銀藏
 多田屋支店
 松本順一郎

農學博士 新渡戸稻造先生著

農 業 本 論

(版五) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓五拾四錢
郵稅金拾四錢

獨逸留學農學士高岡熊雄先生譯

ドクトル、デル
ゴルトツ先生原著 農 政 學

(版再) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓八拾六錢
郵稅金拾六錢

佐藤農學博士閱 伊藤農學士著

農 業 金 融 論

(版再) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓八拾八錢
郵稅金拾八錢

農學士 大協正諄先生著

最 近 米 穀 論

(版三) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓三拾錢
郵稅金拾四錢

須田農學士閱 田村兼藏先生著

最 近 養 蠶 論

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓五拾錢
郵稅金拾四錢

林學士 新島善直先生著

日本森林保護學

(版新) 菊判別製本全壹册
郵稅金壹圓八拾錢

農學士 川上瀧彌先生著

森林植物圖說

(版新) 菊判別製本全壹册
郵稅金壹圓八拾錢

神戶測候所長中川源三郎先生著

天氣豫報論

(版再) 菊判別製本全壹册
郵稅金壹圓五拾錢

理學士農學士 藤田經信先生著

日本水產動物學

(版新) 菊判別製本全壹册
郵稅金貳圓參拾錢

藤田經信君 大瀧圭之介君合著

日本魚類查定法

(版新) 菊判洋裝全壹册
郵稅金四拾錢

川上謙三郎君閣高落松太郎君著

農村時論

(版新) 菊判洋裝全壹册
郵稅金參拾五錢

農藝化學士 織田又太郎先生著

農民の自醒

(版再) 菊判洋裝全壹册
郵稅金參拾四錢

農學士 角田啓司先生著

日本土地經濟論

(版再) 菊判洋裝全壹册
郵稅金參拾四錢

獨逸留學農學士 高岡熊雄先生著

北海道農論

(版新) 菊判洋裝全壹册
郵稅金參拾四錢

南 農學博士 閣 藤田農學士著

釀造用大麥論

(版新) 菊判洋裝全壹册
郵稅金五拾四錢

理學博士 松村松年先生著

日本昆蟲學

理學博士 松村松年先生著

日本害蟲篇

米國理學士 桑名伊之吉先生著

昆蟲學研究法

昆蟲專攻 石田昌人先生編

昆蟲採集日記

理學士農學士 藤田經信先生著

顯微鏡用藥劑便覽

四

(版七) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾四錢
郵稅金拾四錢

(版五) 菊判別製本全壹册
正價金參圓參拾錢
郵稅金貳拾錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓貳錢也
郵稅金拾貳錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金貳圓四拾錢
郵稅金四拾錢

(版三) 菊判別製本全壹册
正價金八拾五錢
郵稅金六錢

宮部理學博士閱 出田農學士著

日本植物病理學

宮部理學博士閱 出田農學士著

實用植物病理學

農學士 川上瀧彌先生著

稻いもち病原論

農學士 川上瀧彌先生著

桐樹天狗巢病原論

農學士 川上瀧彌先生著

七島蘭鼈甲病原論

五

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金貳圓五拾錢
郵稅金貳拾錢

(版再) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾貳錢

(刊近) 菊判別製本全壹册
正價金參拾五錢
郵稅金四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金貳圓四拾五錢
郵稅金四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金貳圓四拾五錢
郵稅金四錢

理學士農學士 堀 正太郎先生著

農作物生理學

農學士 出田新先生著

農作物病理學

氣象專攻 中川源三郎先生著

農業氣象學

農學士 河村九淵先生著

應用肥料學

鏡 農學士 關 草場農學士著

實用土壤學

(版五) 菊判別製本全壹册
正價金八拾錢
郵稅金八拾錢

(版三) 菊判別製本全壹册
正價金八拾錢
郵稅金八拾錢

(版三) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓貳拾錢
郵稅金拾貳錢

(版再) 菊判別製本全壹册
正價金七拾錢
郵稅金八拾錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金八拾錢
郵稅金拾貳錢

工學士 坂岡末太郎先生著

測量學講義

數學專攻 島村樞夫先生著

實用農林數學

赤星農學士 關 草場農學士著

實用園藝學果樹篇

農學士 草場榮喜先生著

實用園藝學蔬菜篇

農學士 明峯正夫先生著

農業種子學

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾八錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

(版再) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓貳錢
郵稅金拾貳錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾八錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾八錢

(刊近) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

(版新) 菊判別製本全壹册
正價金壹圓七拾錢
郵稅金拾四錢

玉利農學博士閱 池本文雄先生著

應用 實驗 蘋果栽培書

果物雜誌主幹 池本文雄先生著

應用 實驗 果樹栽培書

兵庫縣川邊郡 農事試驗場長 北神貢著

應用 實驗 柑橘栽培書

曙山 前田次郎先生著

應用 實驗 草木栽培書

農藝化學士 織田又太郎合著
富山縣農會技手 藤原梅次郎合著

應用 實驗 蘭草栽培書

(版三) 郵正 菊判 洋裝全壹 金參拾 錢錢册

(版再) 郵正 菊判 洋裝全壹 金四拾 錢錢册

(版新) 郵正 菊判 洋裝全壹 金四拾 錢錢册

(版再) 郵正 菊判 洋裝全壹 金四拾 錢錢册

(版新) 郵正 菊判 洋裝全壹 金貳拾 錢錢册

札幌農學校編纂

札幌農學校學藝會編纂

札幌農學校學藝會編纂

農學士 鶴卷恒太先生著

農業講習全書

農學士 石橋三郎治先生著

牛乳と衛生

農學士 小川二郎先生著

家畜改良牧草論

(版新) 郵正 第二卷第一號獨逸文 金七拾五 錢錢册

(版三) 郵正 菊判 洋裝全壹 金四拾 錢錢册

(版新) 郵正 菊判 洋裝全壹 金四拾 錢錢册

(版再) 郵正 菊判 洋裝全壹 金五拾 錢錢册

(版再) 郵正 菊判 洋裝全壹 金五拾 錢錢册

理學士農學士 藤田經信先生
米國理學士 大瀧圭之介先生
水産講習所 日暮 忠先生
合著

日本魚類圖說

各集正價金貳圓
和文英文解說附
小包郵稅金拾錢
全部正價拾貳圓

本圖說目次

第一集	かつき。あなだり。すずき。ぶり。………(既刊)
第二集	むつ。あじ。ちりあじ。ひらめ。さば。………(既刊)
第三集	まぐろ。くまだり。ひ。あな。このしろ。いわし。(近刊)
第四集	がぢまぐろ。ほり。めなだ。あいら。にしん。うるめ。ひしこ。ます。わかさぎ。あらうま。さんま。とびうま。あかえひ。さめ。ひらかしら。
第五集	たい。さけ。あゆ。たら。すけとうたら。うなぎ。はも。あなご。
第六集	

本邦ノ環海魚類ニ豊富ナルコト世ノ既ニ認識スル所ナリ然レドモ未ダ以テ其種類習性漁期及ビ漁法等ヲ説明セル圖畫解説ノ成書アラズ偶々二三魚譜等ノ如キモノアリト雖モ今ヤ殆ト絶版ニ歸シ珍籍トシテ得ヤスカラス是レ豈ニ魚類ヲ主要産物トスル海國ノ一大恨事ニアラズヤ弊房乃チ此一大缺點ヲ補ハント欲シ今回本圖說ヲ刊行スルニ至レリ。

本圖說ノ著述ニ就テハ専門ノ學者合同之ニ從事シ和文ノ魚類性質及ビ習性ハ藤田經信氏。漁期及ビ漁法ハ日暮忠氏。英文ハ大瀧圭之介氏。魚譜及ビ漁具圖ハ伊藤熊太郎氏擔當セラレタリ。

本圖說中ノ魚類ハ皆實物ヨリ最モ嚴正ニ描寫シ其外貌ト色彩トニ於テハ毫モ遺憾ナカラシキ第一卷(各四枚ヲ以テ一集トシ第六集ヲ以テ完結ス)トシテ經濟上最モ重要ナル種類ヲ網羅シ之ガ解説トシテ各種ノ體形、分布、習性等ヲ記述シ尙ホ其利用並ニ漁撈ノ方法ヲモ併記シ一ハ以テ世人ヲシテ日常食饌ニ上ボス魚類ニ就キ容易ニ學術的ノ觀念ヲ得セシメ一ハ以テ學者講究ノ資ニ供スル事トセリ。

農學博士 南 鷹次郎先生校閱
農學士 清水元太郎先生
農學士 瀧 臣 彌先生合著

(全部近日出來)

本 果 圖 譜

實物大四拾種類
解説洋裝全壹册
正 價 金 八 圓
小包郵稅貳拾錢

本 圖 譜 目 次

早熟種

紅魁。初笑。小町。黃金丸。

中熟種

紅綾。祝。生娘。於福。歷山王。大錦。旭。

晚熟種

倭錦。鳳凰卵。鶴玉子。赤龍。臘月。紅玉。花嫁。紅斜子。玉霞。
緋ノ衣。大狸々。小錦。黃金。晚丸。大紫。醉美人。甘露。君力袖。
蝦夷衣。翠玉。白龍。黃龍。國光。青龍。薄雲。緋絨。

苹果圖譜發刊之趣旨

北海の地たる、土壤已に豊沃、空氣も亦極めて乾燥、冬寒くして夏暑く、植物の生育に適す。其最も觀る可きは苹果にして、結實の豊多、品質の優美、風味の佳良、他府縣に産する者の到底企及す可からざる所なり。是を以て其栽培年一年に隆盛を加ふると雖も、從來輸入せる種類極めて多く、樹勢の強弱、成熟の早晚、結實の多少、品質の優劣、各同じからざるを以て、世人往々其撰擇を誤り、爲に意外の損害を受け、或は一敗挫折して、遂に苹果栽培を斷念する者あり、是れ蓋し苹果に關する成書なく、當業者を指導するの準軌を缺くに坐す、豈に園藝界の爲め、將た農業界の爲め、一大恨事と謂はざる可けんや。弊房風に此に慨する所ありと雖も、這種の出版は、圖書、印刷に要する費用巨大にして、微力の能く任ゆる所にあらざるを以て、之を決行するに遲疑すること久し。然るに今や農業界の大勢は、弊房が從來享受し得たる大方諸君の眷顧を恃みとし、南農學博士、清水、瀧兩農學士の執筆を煩はし、苹果四十種を撰み(目下廿五種出來 逐次出版着手中)一々其眞圖を掲げ附するに説明を以てして、本書を完成し、今回愈々出版に着手するに至れり。苹果の栽培、若くは園藝の學に志ある諸君子請ふ一本を購ふて、斯業研究の指針と爲せ、若し夫れ圖書の精巧にして、色彩の靚麗なる、直ちに造化の工を奪ふの觀あるは、水彩畫家の好粉本と爲すに足るべく、夏の日、冬の夕。窓下爐邊、閑餘の清玩に供せば、高尚優美の詩想を涵養することを得ん也。

理學博士 三好 學著
植物學講義 正價金貳圓七十五錢 全一册 郵稅二十錢

理學博士 三好 學著
植物學實驗 正價金貳圓五拾錢 全一册 郵稅拾六錢

理學博士 安田 篤著
植物學 正價金貳圓 全一册 郵稅拾六錢

理學博士 小野 隆雄著
植物學 正價金貳圓 全一册 郵稅拾六錢

農商務省 山林局 編纂
有用植物圖說 正價金六圓四拾錢 全一册 郵稅貳拾錢

農商務省 山林局 編纂
有用森林樹木圖 正價金四圓五十錢 全一册 郵稅貳拾錢

農商務省 山林局 編纂
有用樹木效用篇 正價金壹圓五十錢 全一册 郵稅拾六錢

贈從四位 佐藤 信淵著
草木六部耕種法 正價金壹圓四拾錢 全一册 郵稅拾六錢

林學博士 本多 靜六著
造林學各論 正價金貳圓 全二册 郵稅二十錢

林學博士 本多 靜六著
增訂造林學 正價金壹圓 全一册 郵稅十四錢

理學博士 松村 任三著
植物採集便覽 正價金五拾五錢 全一册 郵稅四錢

理學博士 齋田 功太郎著
大日本普通植物誌 正價金壹圓七拾錢 全一册 郵稅十四錢

理學博士 矢田 部良吉著
日本植物圖解 正價金三圓十五錢 全三册 郵稅三十錢

農學士 西村 寅三著
肥料 正價金壹圓六拾錢 全一册 郵稅拾六錢

農學士 奧村 兩農學士合著
肥料 正價金壹圓參拾錢 全一册 郵稅八錢

農學博士 鈴木 梅太郎著
肥料學原理 正價金六圓 全一册 郵稅八錢

農學士 吉村 清尚著
實用肥料寶典 正價金六圓 全一册 郵稅六錢

陸軍藥劑官 相摸 嘉作著
食物彙纂 正價金壹圓六拾錢 全一册 郵稅拾六錢

理學博士 松村 任三著
增訂植物名彙 正價金貳圓 全一册 郵稅拾六錢

櫻井、高松 兩博士合著
稿本化學語彙 正價金壹圓 全一册 郵稅六錢

理學博士 岡村 金太郎著
海藻類名彙 正價金壹圓五拾錢 全一册 郵稅拾錢

理學博士 遠藤 吉三郎著
日本藻類名彙 正價金壹圓十五錢 全一册 郵稅十錢

理學博士 遠藤 吉三郎著
日本海產植物 正價金壹圓十五錢 全一册 郵稅十錢

水產講習所 技師 石川 儀郎著
水產製造論 正價金壹圓貳拾錢 全一册 郵稅十錢

農學士 松村 松年著
害蟲驅除全書 正價金九圓 拾錢 全一册 郵稅六錢

理學博士 佐々木 忠次郎著
農作物害蟲篇 正價金貳圓 全一册 郵稅拾六錢

理學博士 佐々木 忠次郎著
樹木害蟲篇 正價金貳圓五拾錢 全一册 郵稅拾六錢

農學士 堀 正太郎著
農作物病學 正價金壹圓六拾錢 全一册 郵稅十錢

理學博士 白井 光太郎著
植物病理學 正價金貳圓十五錢 全一册 郵稅十四錢

農學博士 大森 順藏著
日本植物病論 正價金貳圓 全一册 郵稅拾四錢

農學博士 大森 順藏著
日本植物病講義 正價金八圓 拾五錢 全一册 郵稅八錢

外山、石渡 兩學士合著
實驗植物解剖 正價金壹圓貳拾錢 全一册 郵稅拾二錢

農學士 廣瀬 次郎著
實驗植物生理 正價金壹圓 全一册 郵稅拾錢

農學士 廣瀬 次郎著
實驗植物生理 正價金壹圓 全一册 郵稅拾錢

農學士 池田 榮太郎著
日本蠶病消毒法 正價金壹圓 全一册 郵稅十錢

農學博士 恒藤 矩規著
日本土壤論 正價金壹圓四拾錢 全一册 郵稅貳錢

贈從四位 佐藤 信淵著
土性辨培養秘錄 正價金九圓 拾錢 全一册 郵稅八錢

農學士 中尾 節藏著
農產製造學 正價金八圓 拾五錢 全一册 郵稅拾錢

大日本農會編纂
內國產蘿蔔一覽 正價金三圓 拾五錢 圖解共 郵稅四錢

大日本農會編纂
內國產柿實一覽 正價金五圓 拾參錢 圖解共 郵稅四錢

大日本農會編纂
日本柑橘品集 正價金六圓 拾五錢 圖解共 郵稅四錢

新編御料局技師 福羽 逸人著
果樹栽培全書 正價金壹圓〇五錢 全四册 郵稅廿四錢

大日本農會編纂
果樹栽培全書 正價金貳圓貳拾錢 全八册 郵稅拾八錢

農學士 高橋 久四郎著
果樹栽培全書 正價金五圓 拾五錢 全一册 郵稅八錢

農學士 高橋 久四郎著
園藝全書 正價金八圓 拾錢 全一册 郵稅八錢

新編御料局技師 福羽 逸人著
蔬菜栽培培法 正價金七圓 拾錢 全一册 郵稅十二錢

著生先清上河ツア フォルトスマ米在

THE POLITICAL IDEAS OF MODERN JAPAN

錢貳拾稅郵○錢拾貳圓壹金價正○冊壹全裝洋判菊

●河上翠陵の名著を讀む 『萬朝報所載』 山縣五十雄

一昨々年来北米に遊學して居る、我社の河上翠陵は先日新著を余の許に送つて日本に於て出版したいと依頼して來た、余は適當の書肆即ち裝華房で本書を出版せしめ、此頃發賣の運びに至つたにつきては、其如何なる種類であるかを翠陵の「在米通信」を愛讀せらるゝ本紙の讀者諸君に御知らせする義務があると思ふ、但し余は唯此書の性質を紹介するに止めて、敢て褒貶の辭を加ふることをせぬ、余がエザツトしたものであつて、若し聊かに其優れたる點を擧ぐるにとあらば自備自贊の嫌疑を受けぬとも限らぬ、又自己の親友に媚びると思はれることを好まぬからである、翠陵が全力を盡した著述で全く眞面目なものであつて英文にて書かれた「日本近世の政治思想」である。

此書は翠陵がアイチャツ大学に於て卒業論文として著したもので一年間の刻苦勉強の結果に成り、彼はこれが爲めに少なからぬ健康を害して其の後シヤトル附近の農園に於て靜養せざるを得ざるに至つた、然し其報として彼はこれによりてワイコンシン、エールの二大學より奨學金を得るやうになつた、此書の如何なるものであるかは其目次を擧ぐれば大抵分るであらう、即ち「日本國民の起源」「日本國民の特性」「日本國民の特性に及ぼしたる外國の結果」「維新前の日本政事小史」「維新革命の源因と意義」「支那政治思想の影響」「宗教の影響」「泰西政治思想の輸入」「自由思想の發達」「政黨の勃興」「自由黨の根本思想」「進歩黨の根本思想」「憲法の制定」「憲法の無事に採用せられし所以」「憲法の批評」「社會民主思想の勃興」及び「結論」である、余は前にもいへる如く何等の批評を此書に加ふることはせぬが米國の諸大家が之に興へた短評を掲載するは不可なからう、即ち左に其二三を掲載する

▲皇國の著者クリフイス博士曰く「本書は日本に關する最も斬新奇抜なる著述なり」▲コランビヤ大學政治學部長バルセス博士曰く「政治學上極めて興味ある著述なり」▲ペンシルヴェニア大學政治學部長ラウ博士曰く「余は非常の興味を以て本書を讀めり」▲シヨンスホフキンス大學政治學部長非ロビー博士曰く「日本に關する科學的著述にして本書の如く興味ある者は未だ曾て見ざる所なり」▲非スコンシン大學政治經濟學部長エリー教授曰く「著述は非凡のインサイトを有す」▲同大學政治學講師、イシユ博士曰く「本書は政治學上に貢獻する所頗る多し」

勝島、津野兩博士合著 農商務省御藏版 產牛大鑑 全二冊 郵稅廿四錢 正價金貳圓	農商務省御藏版 牧畜全書 全十六冊 郵稅七拾錢 正價金七圓五拾錢	農商務省御藏版 家畜醫範 全三冊 郵稅拾四錢 正價金壹圓四拾錢	農商務省御藏版 解剖學 田中 宏著 全三冊 郵稅拾四錢 正價金壹圓四拾錢	農商務省御藏版 生理學 新山莊輔著 全三冊 郵稅拾四錢 正價金壹圓四拾錢	農商務省御藏版 藥物學 四川勝藏著 全三冊 郵稅拾六錢 正價金壹圓五拾錢	農商務省御藏版 內科學 勝島仙之助著 全三冊 郵稅拾八錢 正價金壹圓〇六錢	農商務省御藏版 外科學 須藤義衛門著 全二冊 郵稅拾貳錢 正價金壹圓〇六錢	農商務省御藏版 產科學 三浦清吉著 全二冊 郵稅八錢 正價金六拾八錢	農商務省御藏版 實用家禽書 全一冊 郵稅拾五錢 正價金七拾五錢	農商務省御藏版 養豚全書 全一冊 郵稅八錢 正價金七拾錢	針塚農學士 高野亮美著 家畜飼養學 全一冊 郵稅十錢 正價金壹圓
理學博士 石川千代松著 進化新論 全一冊 郵稅拾六錢 正價金貳圓	理學博士 丘 淺次郎著 進化論講話 全一冊 郵稅十五錢 正價金貳圓五拾錢	鈴木、高林兩農學士合著 最近煙草論 全一冊 郵稅拾四錢 正價金壹圓五拾錢	農學士 石坂楠樹著 農業經濟論 全一冊 郵稅十五錢 正價金壹圓八拾錢	農學士 伊藤梯藏著 耕地整理論 全一冊 郵稅八錢 正價金六拾錢	農商務省御藏版 大日本農史 全二冊 郵稅拾貳錢 正價金貳圓五拾錢	農學士 有働良美著 產業組合詳說 全一冊 郵稅八錢 正價金八拾錢	法學士 柳田國男著 產業組合通解 全一冊 郵稅八錢 正價金八拾五錢	農學博士 橫井時敬著 農業要項 全一冊 郵稅六錢 正價金五拾錢	農學士 田口晋吉著 米の經濟 全一冊 郵稅六錢 正價金四拾五錢	農學博士 橫井時敬著 作物改良論 全一冊 郵稅六錢 正價金五拾五錢	

德川慶喜公題字 榎本武揚君題字 島田三郎君序文
栗本鋤雲先生著 宮本鴨北君序文 尾崎行雄君序文
犬養毅君序文 栗本秀二郎編纂

匏菴遺稿

(再版印行)

菊判 正價金壹圓五拾錢
洋裝 全壹冊郵稅拾八錢

栗本鋤雲翁は近代の高士なり、門巷蕭條夜色悲。鶴鶴聲在月前枝。誰隣孤帳寒漿下。白髮遺臣讀楚辭の句を誦する時は孰れか其節を高しとし而して其志を悲まさらん翁幕末多難の秋に於て奥醫より出て外政の局に當り兵庫開港延期談判となり横須賀造船所創設となり下ノ關償金談判となり佛國に航し當時日佛兩國の阻隔を調停す等其偉蹟の傳ふ可きもの渺なしとせず歸朝の日政變に遭ひ瓢然として江湖を逃れ専ら文筆を以て世に立てり翁か維新の筆述に係る者は多く散佚して傳らず佛國行の公書私乘の如きは海中に投じ魚腹に葬れりと云ふ只だ變平ぎて後窓前燈に隨ひ録し、所の雜著となり漫言となりて曾て郵便報知新聞紙上に載られしもの頗る多し前年匏菴十種として活刷されしと雖も十の二三に過ぎず翁逝きて後嗣子秀二郎君遍く其の遺錄を輯し編して匏菴遺稿とし以て家寶に傳ふ本書は即ち是なり翁が高節なる隨筆に史論に詩文に滄桑の感を寓する深しと雖も翁が博覽にして多趣なる本草に物産に關すると多く特に北海の拓殖に涉りては所見渺なしとせず斯て匏菴遺稿は一部幕末の史料なり一時絶好の高士傳なり其の世道人心を裨補する大なるを信じ弊房是を栗本家に請ひて發兌す希くは高評を賜はらんとを

故勝海舟翁題字 新渡戸稻造君校閱
志賀重昂君批評 菅菊太郎君著

(再版印行)

菊判 正價金壹圓貳拾錢
洋裝 全壹冊郵稅拾貳錢

日歐交通起源史

日本帝國の地位、勢力、隱然として宇内の重きをなさんとすると同時に、對外の事端目を追ふて繁雜を極め、隨つて外交上の歴史的研究に従ふ者少からず、然れども、從來世に公にせられたる著述は、概ね嘉永安政以降に於ける開國の顛末を叙する者に非ずんば、即ち纔かに徳川幕府の初期に溯りて、鎖國の緣由を説く者のみ、未だ人種、地理、歴史の上より日歐の關係を論斷して、自他交通の起因を證明確示せるものあらず、之あるは實に本書より始まる、哲學博士、農學博士、新渡戸稻造氏嘗て米國遊學中、こゝに志あり、米獨西葡諸國の史書に就き、苟くも事の日歐交通に關係せるものは博搜して遺す所なく、研鑽年あり、著者就きて、其藏書を閲みし其議論を聴き、更に和漢の史籍を涉獵し、參するに自家の研究を以てして本書を大成し、添ゆるに農學士志賀重昂氏の精理なる評を以てせり、庶くは本邦外交研究史の起源これによりて明確なるを得べく、歷史上の疑問たりし葡人初航の年月事實も是れによりて明了することを得べし、若し夫れ如何に其材料の豊富にして、如何に明快なる乎は、讀者自ら之を知らん、必ずしも此に架説するの要なきなり。

故勝海舟先生序 田邊蓮舟翁序
 榎本武揚先生序 長田偶得編纂

〔近刊〕

徳川三百年史

菊判別製本全三冊
 全體總數四千餘頁
 正價金拾三圓五拾錢
 小包郵稅金五拾錢

本書所載の人物 八十餘名 分ちて五門

第一門 伊達政宗、水戸光圀 以下の諸賢侯を收め

第二門 以下は文學者及び工藝家其他名僧等を收む

第三門 長以下の思想界に勢力ありし碩學鴻儒を收め

第四門 には言行俊邁、當時を傾動し後世に附載する

第五門 人の概感に資すべきものを收む

年表をてす合して之を看れば精密なる徳川史なり、分ちて之を讀めば趣味多き以簡人の傳記な

得失と思想風尚の變遷とを詳かにし、今日文化の淵源する所を知らんと欲する者は、須らく書架の

珍と爲すべし。本書の人名を擧ぐれば左に

卷下	卷中	卷上
間林蒲大由山南伊小塙本圓室貝伊朱中藤勝井松柳徳	宮生田比鹿光能山居珠原藤江原伊平澤川	林子君南正素天忠興巳宣契鳩益仁舜藤燿安直定吉家
藏平平畝雪行海敬清一長冲巢軒齋水樹窩房岡信保康	高近高山平大石佐杉小平加頼新荻山熊林 徳水徳徳	田藤山縣賀石川藤田澤田茂 井生崎澤 川野川川
嘉重九郎武内雄山淵白庵胤淵陽石徠齋山山	慶忠吉家 喜邦宗光	
眞大佐渡二錢 護澤夏板葛酒圓狩山近小 烏米池伊	持庵目本飾井山野東松堀 津澤田達	
木橋久間華尊兵衛 隆和成其北抱應探京巢遠 齊鷹芳政	光尙美角齋一舉幽傳林州 彬山烈宗	
栗平梁高高山大 月隱深與松司谷英瀧井本 山細水	性元草謝尾馬 澤原阿彌光	
本野川島野長八 上禪元燕芭江文一馬西 容銀光	人師政村蕉漢晁蝶琴鶴 堂臺園	

FLOWERS

三版

なは

増補

一(冊) 壹拾 全郵 裝錢 洋拾 本五 美圓 判壹 菊價) 正

農學士 川上瀧彌先生 合著
農學士 森廣先生 合著

和田英作君水彩畫一版
藤島武二君意匠畫四版
牧野富太郎君寫生畫八版
飯田雄太郎君寫生畫一版
石版着色

花は自然の精華にして、造花の靈機之に萃る。而も詩人は唯其風姿韵致の美を歌ふを知りて、其構造組織の巧を究むるを知らず。科學者は只其構造組織の巧を究むるを知りて、其風姿韵致の美を歌ふとを知らず、嗚呼孰れか造化の靈機は、斯二者を合せて之を一とするに在るとを知らん、著者身を科學界に委ね旁ら文學を嗜み、久しく此缺陷を補ふに意あり、拮据數年漸く本書を成せり、敢て花の美と巧とを説き盡くし、造化の靈機を穿了すと云はざるも、庶くは文學と科學との調和之に由て啓るか、あらんか、圖書の巧、印刷製本の美、書中の文字と相輝映するに至ては、必ずしも茲に縷述せず、一讀して其言の必ずしも浮誇ならざるを徴知せよ

初版再版好評噴々の間に悉く盡き、今や増補改訂、挿畫を倍し以て第三版を發刊す、一緡して滿卷の芳色を掬せられよ。

刊 既

在米マスタリ、オプ、
ア「ツ河上清先生著 英文日本近世史 (新版) 正價金壹圓貳拾錢
全壹冊郵稅拾貳錢
新渡戸稻造先生著 日歐交通起源史 (再版) 正價金壹圓貳拾錢
全壹冊郵稅拾貳錢
菅菊太郎先生著

哲學博士 文學博士
新渡戸稻造先生著 英文武士道 (六版) 正價金四拾五錢
全壹冊郵稅四錢
新渡戸稻造先生著 獨文武士道 (三版) 正價金五拾五錢
全壹冊郵稅六錢
獨逸カフ「マン譯
裳華房編輯部編 武士道評註 (新版) 正價金參拾錢
全壹冊郵稅四錢
他翁道人評論

東 裳
京 華 房
行 發

告 廣

米國「ブルムタ」著 英文書牘集 (再版) 正價金六拾錢
全壹冊郵稅八錢
山本良直先生編
米國「バートン」著 英文成功の機會 (新版) 正價金六拾錢
全一冊郵稅六錢
野口稻治先生編

BUSHIDO THE SOUL OF JAPAN

An Exposition of Japanese Thought

BY

INAZO NITOBE, F. M., PH. D.

SIXTH EDITION

Author of the "History of the Intercourse between the U. S.
and Japan." "Landed Property in Japan." Etc., Etc.

CHIVALRY OF THE JAPANESE.

Doctor or Professor Inazo Nitobe has indited an essay, a little more than a hundred pages long, which must be studied as well as read; and since it is as fascinating as it is important, that is no hardship. The English which the professor writes is so singularly pure, easy and effective that no one would imagine it to be work of a foreigner—and of a foreigner so very foreign as a Japanese. But that is little; the author seems to be the master of all the knowledge proper to a learned man of the West, as well as of that Oriental lore of which Westerners know not much. His theme is chivalry, or the knighthood of Japan; specifically, of the warrior class, the samurai, who numbered 2,000,000 knights, and who gave its tone to the whole country.....

It is foolish to pretend to review an essay of this depth and scope in a paragraph. The professor shows not only learning, but in sight, judgment, magnanimity; his arguments are cogently reasoned; he touches his subject with satire here and there; he is always patriotic, but never bigoted or narrow. He gives us a better knowledge of the spirit of his nation than any foreign observers have done, not excepting even Lafcadio Hearn, to whom Professor Nitobe pays several compliments. You may read the book through in a couple of hours, but you may return to it profitably for years.

JULIAN HAWTHORNE.

Cloth 1.00 yen, ... Postage 6 sen.
Paper. 45 sen, Postage 4 sen.

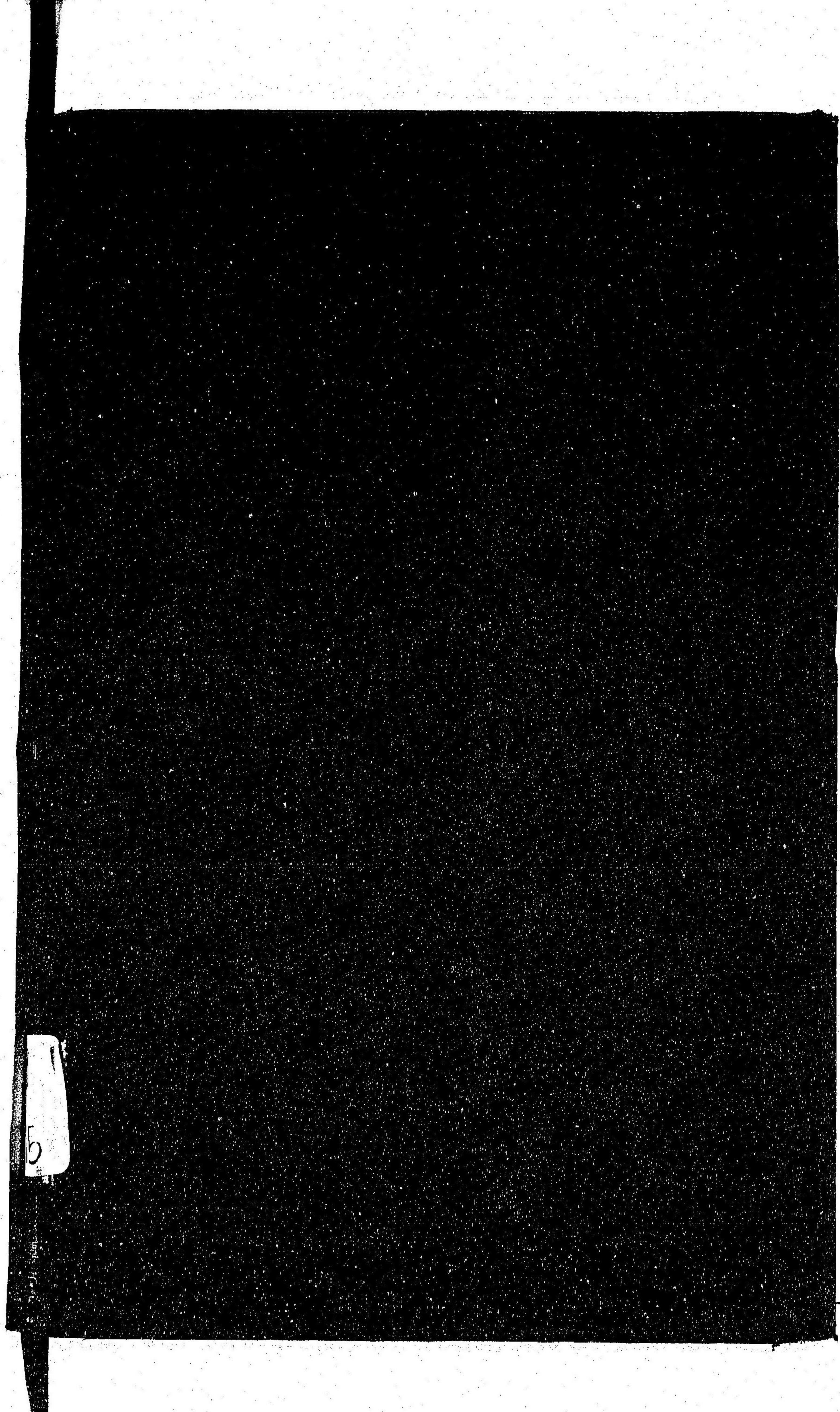
SHOKWABO, Tokyo, Japan.

二
十
四

47

79

1315



1
5

79
315

057624-000-6

79-315

日本魚類查定法

藤田 経信

大滝 圭之介 / 著

M37

CAR-0218



